

市民病院病歴棟増築工事

都市整備局開発建築部営繕課
石本建築事務所

特記仕様書

建築工事特記仕様

- 1. 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、建設大臣官庁官庁官庁...
2. 特記仕様
(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、◎印の付いたものを適用する。
◎印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
◎印と※印の付いた場合は、共に適用する。
(3) 特記事項に記載の()内表示番号は、共通仕様書の当該項目又は当該表を示す。

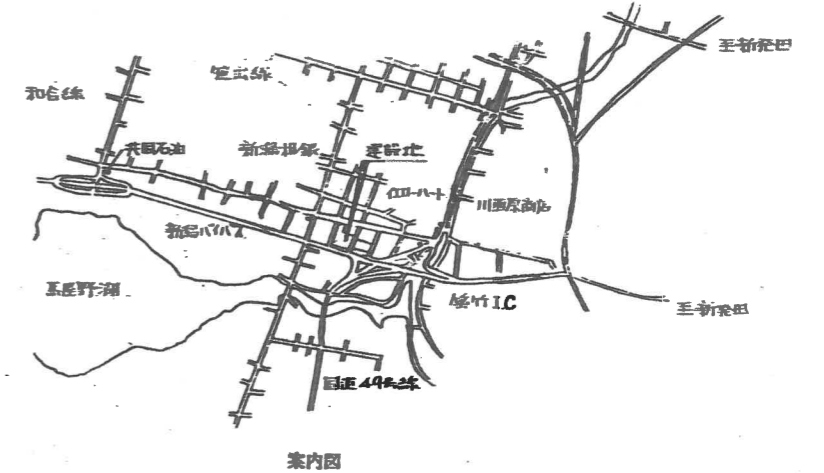
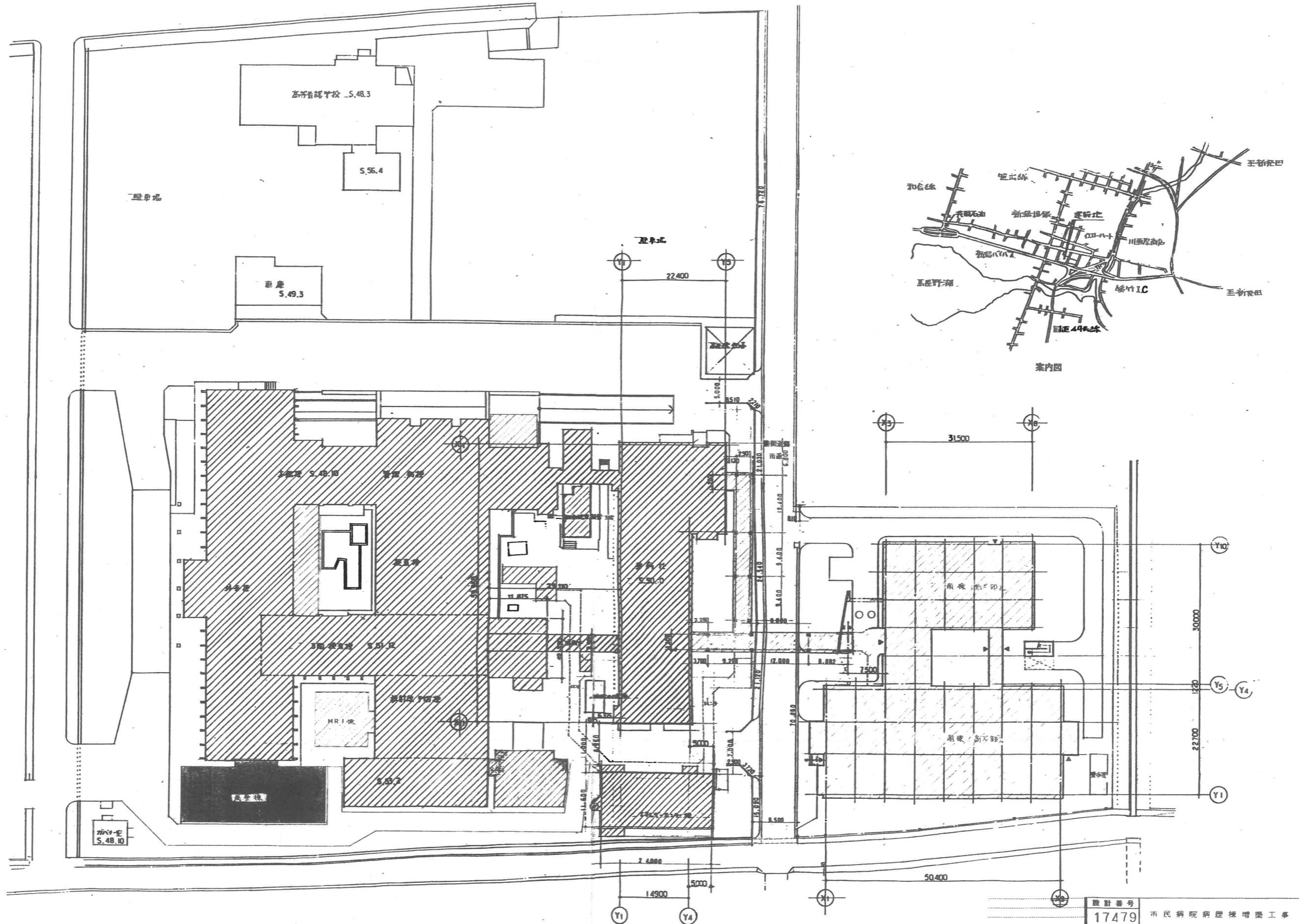
Table with 2 columns: 項目 (Item) and 特記事項 (Special Specifications). Rows include 1. 建築材料等, 2. 特別な材料の工法, 3. 養生材の処理, 4. 電気担当技術者, 5. 技能士の適用, 6. 設備工事との取合い, 7. 工事写真等, 8. 特別完成写真, 9. 完成図など, 10. 監督員事務所等, 11. 監督員用品等, 12. 工事用水, 13. 工事用電力, 14. 仮設建物等, 15. 1. 既製土留, 2. 掘土土留, 16. 1. 既製土留, 17. 1. 既製土留, 18. 1. 既製土留, 19. 1. 既製土留, 20. 1. 既製土留, 21. 1. 既製土留, 22. 1. 既製土留, 23. 1. 既製土留, 24. 1. 既製土留, 25. 1. 既製土留, 26. 1. 既製土留, 27. 1. 既製土留, 28. 1. 既製土留, 29. 1. 既製土留, 30. 1. 既製土留, 31. 1. 既製土留, 32. 1. 既製土留, 33. 1. 既製土留, 34. 1. 既製土留, 35. 1. 既製土留, 36. 1. 既製土留, 37. 1. 既製土留, 38. 1. 既製土留, 39. 1. 既製土留, 40. 1. 既製土留, 41. 1. 既製土留, 42. 1. 既製土留, 43. 1. 既製土留, 44. 1. 既製土留, 45. 1. 既製土留, 46. 1. 既製土留, 47. 1. 既製土留, 48. 1. 既製土留, 49. 1. 既製土留, 50. 1. 既製土留, 51. 1. 既製土留, 52. 1. 既製土留, 53. 1. 既製土留, 54. 1. 既製土留, 55. 1. 既製土留, 56. 1. 既製土留, 57. 1. 既製土留, 58. 1. 既製土留, 59. 1. 既製土留, 60. 1. 既製土留, 61. 1. 既製土留, 62. 1. 既製土留, 63. 1. 既製土留, 64. 1. 既製土留, 65. 1. 既製土留, 66. 1. 既製土留, 67. 1. 既製土留, 68. 1. 既製土留, 69. 1. 既製土留, 70. 1. 既製土留, 71. 1. 既製土留, 72. 1. 既製土留, 73. 1. 既製土留, 74. 1. 既製土留, 75. 1. 既製土留, 76. 1. 既製土留, 77. 1. 既製土留, 78. 1. 既製土留, 79. 1. 既製土留, 80. 1. 既製土留, 81. 1. 既製土留, 82. 1. 既製土留, 83. 1. 既製土留, 84. 1. 既製土留, 85. 1. 既製土留, 86. 1. 既製土留, 87. 1. 既製土留, 88. 1. 既製土留, 89. 1. 既製土留, 90. 1. 既製土留, 91. 1. 既製土留, 92. 1. 既製土留, 93. 1. 既製土留, 94. 1. 既製土留, 95. 1. 既製土留, 96. 1. 既製土留, 97. 1. 既製土留, 98. 1. 既製土留, 99. 1. 既製土留, 100. 1. 既製土留.

Table with 2 columns: 項目 (Item) and 特記事項 (Special Specifications). Rows include 1. 鋼材, 2. 高力ボルト, 3. ターンバックル, 4. 溶接完了後の検査, 5. 鉄道の敷地ごしらえ, 6. 止り止め材料, 7. 耐火被覆, 8. アンカーボルトの保持及び埋込み, 9. 柱底ならし, 10. 鉄骨の製作工場, 11. 1. 鋼材, 12. 高力ボルト, 13. ターンバックル, 14. 溶接完了後の検査, 15. 鉄道の敷地ごしらえ, 16. 止り止め材料, 17. 耐火被覆, 18. アンカーボルトの保持及び埋込み, 19. 柱底ならし, 20. 鉄骨の製作工場, 21. 1. 鋼材, 22. 高力ボルト, 23. ターンバックル, 24. 溶接完了後の検査, 25. 鉄道の敷地ごしらえ, 26. 止り止め材料, 27. 耐火被覆, 28. アンカーボルトの保持及び埋込み, 29. 柱底ならし, 30. 鉄骨の製作工場, 31. 1. 鋼材, 32. 高力ボルト, 33. ターンバックル, 34. 溶接完了後の検査, 35. 鉄道の敷地ごしらえ, 36. 止り止め材料, 37. 耐火被覆, 38. アンカーボルトの保持及び埋込み, 39. 柱底ならし, 40. 鉄骨の製作工場, 41. 1. 鋼材, 42. 高力ボルト, 43. ターンバックル, 44. 溶接完了後の検査, 45. 鉄道の敷地ごしらえ, 46. 止り止め材料, 47. 耐火被覆, 48. アンカーボルトの保持及び埋込み, 49. 柱底ならし, 50. 鉄骨の製作工場, 51. 1. 鋼材, 52. 高力ボルト, 53. ターンバックル, 54. 溶接完了後の検査, 55. 鉄道の敷地ごしらえ, 56. 止り止め材料, 57. 耐火被覆, 58. アンカーボルトの保持及び埋込み, 59. 柱底ならし, 60. 鉄骨の製作工場, 61. 1. 鋼材, 62. 高力ボルト, 63. ターンバックル, 64. 溶接完了後の検査, 65. 鉄道の敷地ごしらえ, 66. 止り止め材料, 67. 耐火被覆, 68. アンカーボルトの保持及び埋込み, 69. 柱底ならし, 70. 鉄骨の製作工場, 71. 1. 鋼材, 72. 高力ボルト, 73. ターンバックル, 74. 溶接完了後の検査, 75. 鉄道の敷地ごしらえ, 76. 止り止め材料, 77. 耐火被覆, 78. アンカーボルトの保持及び埋込み, 79. 柱底ならし, 80. 鉄骨の製作工場, 81. 1. 鋼材, 82. 高力ボルト, 83. ターンバックル, 84. 溶接完了後の検査, 85. 鉄道の敷地ごしらえ, 86. 止り止め材料, 87. 耐火被覆, 88. アンカーボルトの保持及び埋込み, 89. 柱底ならし, 90. 鉄骨の製作工場, 91. 1. 鋼材, 92. 高力ボルト, 93. ターンバックル, 94. 溶接完了後の検査, 95. 鉄道の敷地ごしらえ, 96. 止り止め材料, 97. 耐火被覆, 98. アンカーボルトの保持及び埋込み, 99. 柱底ならし, 100. 鉄骨の製作工場.

Table with 2 columns: 項目 (Item) and 特記事項 (Special Specifications). Rows include 1. アスファルト防水, 2. 合成高分子ルーフィング防水, 3. 遮熱防水, 4. シーリング用材料, 5. 防水の保証等, 6. 1. テラゾブロック張り, 7. 1. 陶磁器質タイル張り, 2. 陶磁器質タイル型枠先付け, 8. 1. 木材, 2. 表面仕上げ, 3. 化粧板の貼付, 4. 造作用用材, 5. 防び処理, 9. 1. 長尺型枠の組み立て, 2. 成形スラスト, 3. と, 10. 1. 長尺型枠の組み立て, 2. 成形スラスト, 3. と.

Table with 2 columns: 項目 (Item) and 特記事項 (Special Specifications). Rows include 1. アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理, 2. 鉄の亜鉛めっき, 3. 手すり及びラック, 4. 金属成形板張り, 5. アルミニウム製受木, 6. 1. 防火材料, 2. 仕上塗材仕上げ, 7. 吹付け吹付け, 8. ロックワール吹付け, 9. 仕様書(そのI)

Design number: 17479, Drawing number: 1, Date: 石本建築事務所 (Ishimoto Kenchikusho), Address: 東京・札幌・名古屋・大阪・九州・仙台・横浜



配置図 1:400

新潟市都市整備局門元建築部管理課
課長 田中 係長 林

設計番号	17479	市民病院病棟増築工事
図頁番号	3	案内図・配置図
製作日		石本建築事務所
		東京・札幌・名古屋・福岡・仙台・横浜

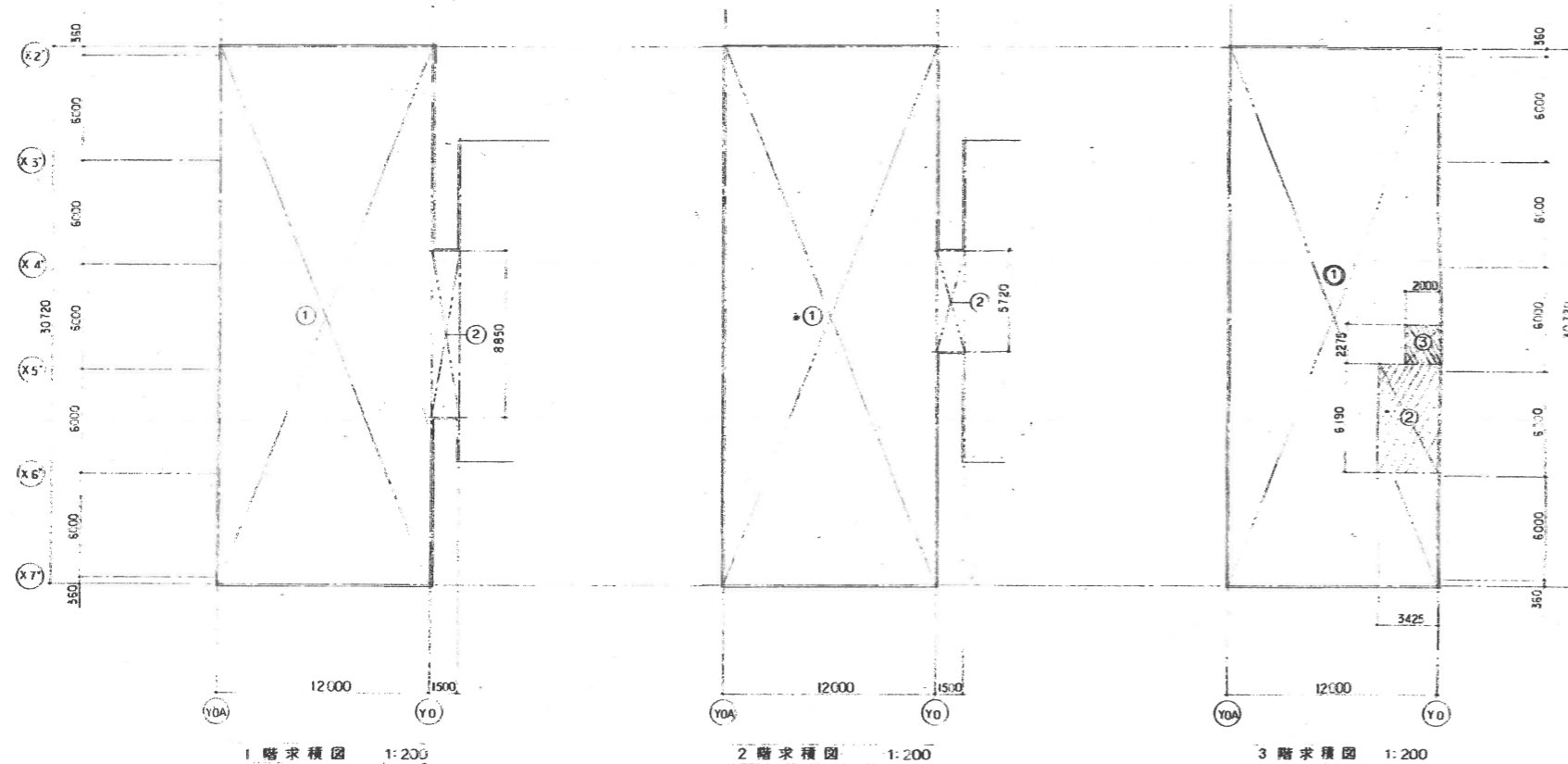
縮尺
1:400

外部仕上表

項目	通	用	項目	通	用
外壁	合板型砕コンクリート打設し(増設②20) マスターク塗材MR-CS (既存部分口トップコート掛付)		ルーフドレーン	鋳鉄製 横引形 100A 珪石品	
屋根	R階 コンクリートスラブにて押え、外断熱防水、イワラス 100 ^φ ×6 ^寸 、豆砂利コンクリート⑧ 80 全にて押え 3階 既存コンクリートスラブ、軽量コンクリート全にて押え、露出外断熱防水		縦どい	白ガス管 (SGPJ100A SOP塗り) 支持金物: ステンレス製	
屋根・伸縮目地	塩ビ製成形品 W:25 H:80 既成品		外壁目地	ポリサルファイド系シーリング W:15	
笠木	アルミ製珪石品		タラップ	ステンレス製ヘアライン仕上げ 珪石品	
			バルコニー	鉄骨造 (手摺付) 漆喰重量鉛ドブ張り処理	

内部仕上表

室名	床	巾木	壁	柱	型	天井	井	備考
病歴室(5)(6)	既存RC床版 モルタル全にて① 30 羊硬質ビニル・ノンアセチタイル⑦ 20	羊硬質ビニル H:75	外壁面 RCT地断熱材⑦25打込 軽鉄下地PB⑦12 JI法 EP塗り 内壁面 軽鉄下地PB⑦9・12 JI法 EP塗り 階面 軽鉄下地PB⑦12 JI法 EP塗り	モルタル全にて押え ②20,25 EP塗り		軽鉄下地 化粧石こうボード⑨ (不燃) 果型 合板型砕コンクリート打設しマスターク塗材 A 種塗り		物動音低減用遮音レール (取付・別送工事) X5' 重り両面付壁は2時間耐火性能とする
事務室	既存RC床版 モルタル全にて① 30 ビニル床シート⑦ 20		外壁面 RCT地断熱材⑦25打込 軽鉄下地PB⑦12 JI法 EP塗り 内壁面 軽鉄下地PB⑦9・12 JI法 EP塗り	全上		全上		ブラインド 洗面化粧台 (別送) 搬送ステーション
会議室	既存RC床版 モルタル全にて① 30 羊硬質ビニル・ノンアセチタイル⑦ 20		全上	全上		全上		ブラインド 洗面化粧台 (別送)
診療情報部長室	全上		全上	全上		全上		ブラインド
電気室	全上		外壁面 RCT地断熱材⑦25打込 PB⑦12直張り JI法 無塗装 内壁面 軽鉄下地PB⑦9・12 JI法 無塗装 (下地中塗りローケル機納)	合板型砕コンクリート打設しのみ		合板型砕コンクリート打設しのみ		
廊下	全上		外壁面 RCT地断熱材⑦25打込 PB⑦12直張り JI法 EP塗り 内壁面 軽鉄下地PB⑦9・12 JI法 EP塗り 階面 軽鉄下地PB⑦12 JI法 EP塗り RC下地モルタル全にて EP塗り			軽鉄下地 化粧石こうボード⑨ (不燃)		

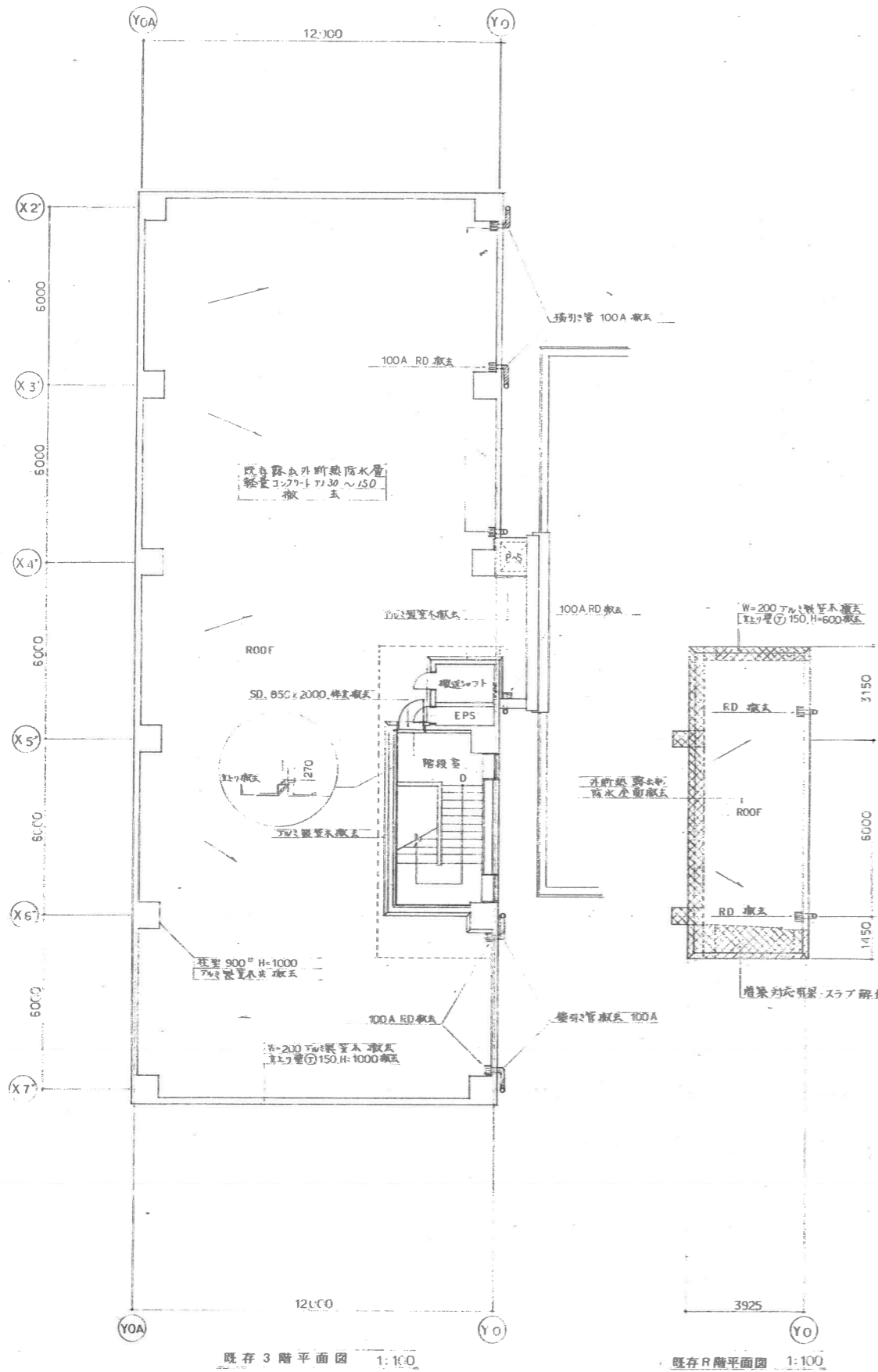


面積表

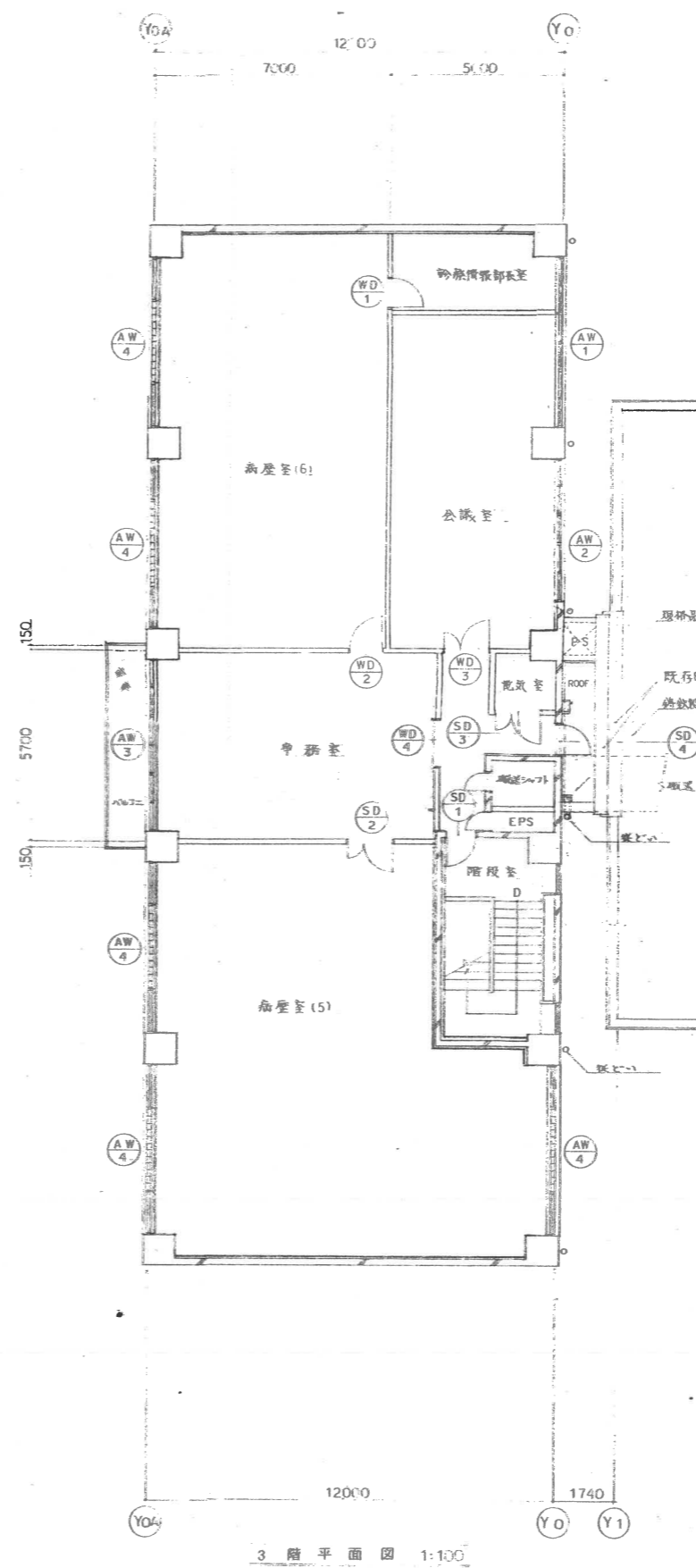
	計	算	面積 M ²	備考
1	①	30.72 x 12.0 = 368.64	381,915	既存
	②	1.5 x 8.95 = 13.275		
2	①	30.72 x 12.0 = 368.64	377,220	既存
	②	1.5 x 5.72 = 8.58		
3	①	30.72 x 12.0 = 368.64	368,640	増築面積 342,890 M ²
	②	3.425 x 6.15 = 21.20		
	③	2.0 x 2.215 = 4.55		
			②③	既存 25,750 M ²
病歴棟床面積			1,127,775	

新潟市都市整備局開発建設部管轄課
課長 橋本 課長 橋本

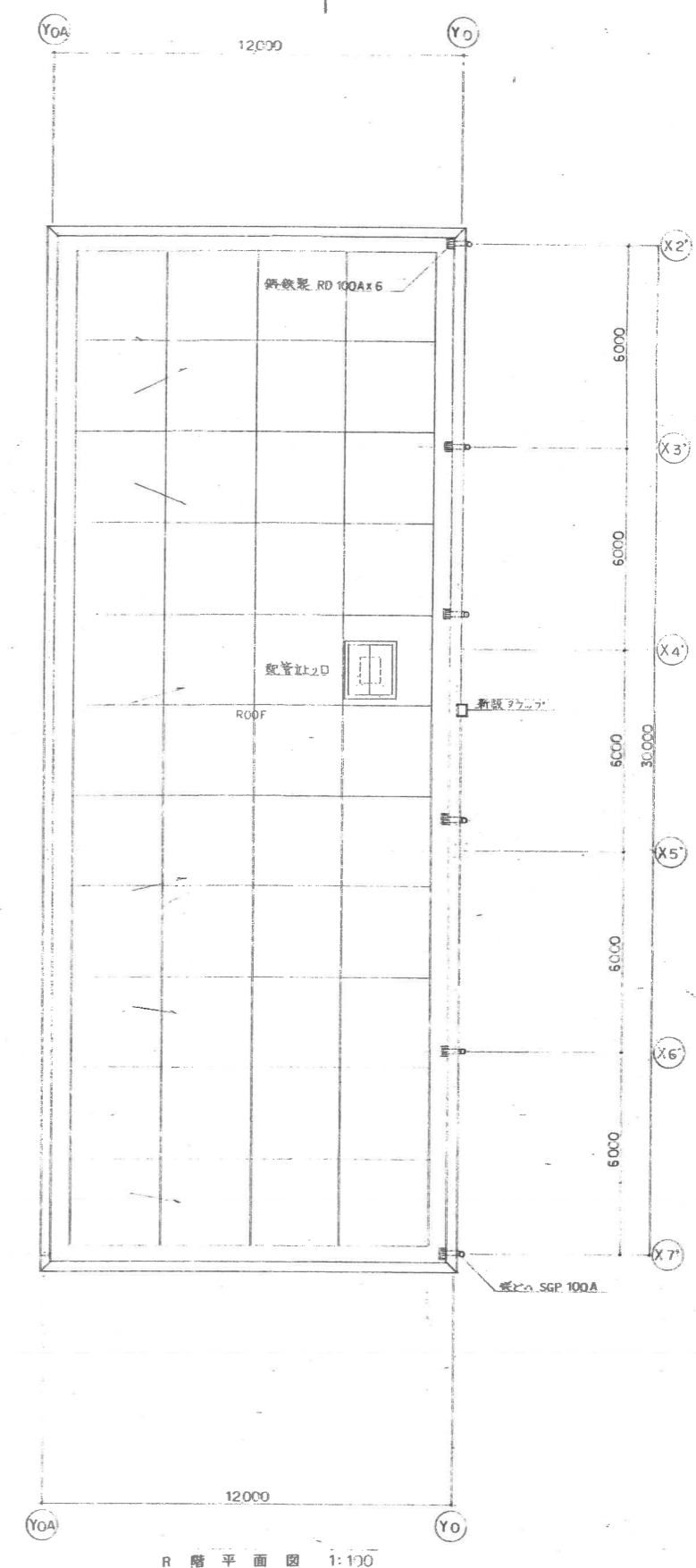
設計番号	17479	市民病院病歴棟増築工事
図面番号	4	仕上表、面積表
製作日		石本建築事務所
		東京・札幌・名古屋・大阪・九州・東北・横浜



既存3階平面図 1:100



3階平面図 1:100

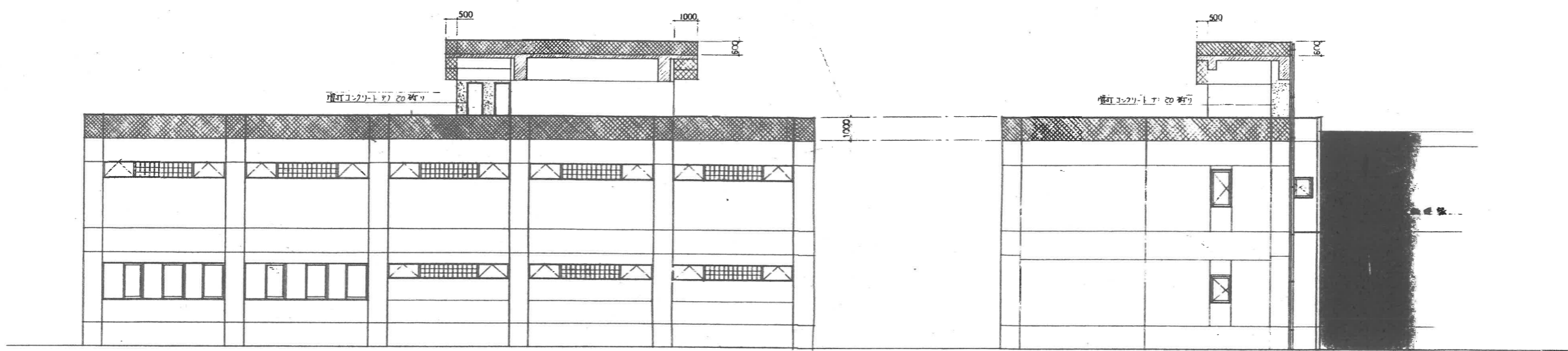


R階平面図 1:100

新潟市都市整備局開発建築部管轄課

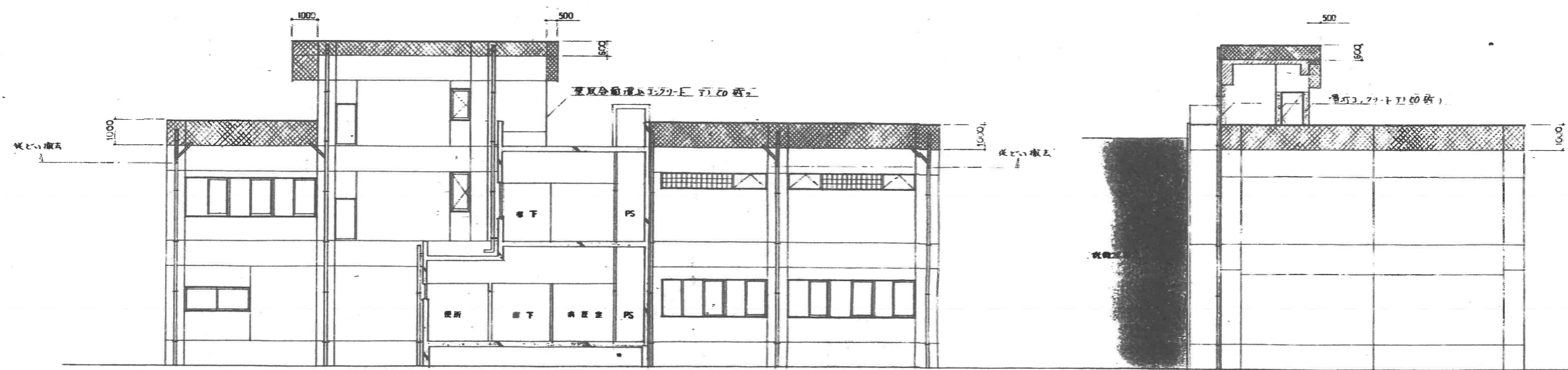
副長	主任	係長	係
----	----	----	---

設計番号	17479		市民病院病歴棟増築工事
図面番号	5	3階増築平面図	縮尺 1:100
製作日	石本建築事務所		
東京・札幌・名古屋・大阪・九州・仙台・横浜			



南侧立面图 1:100

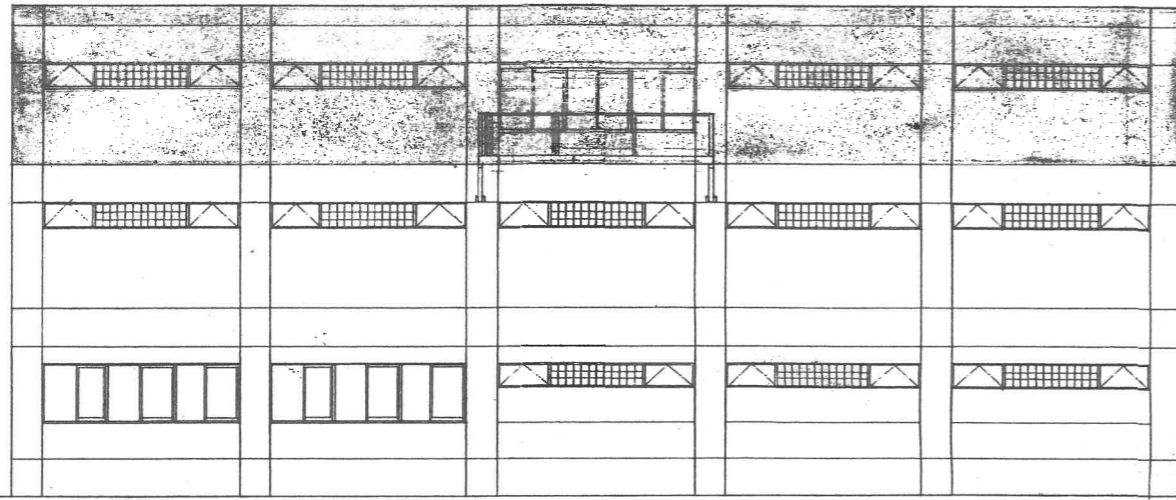
东侧立面图 1:100



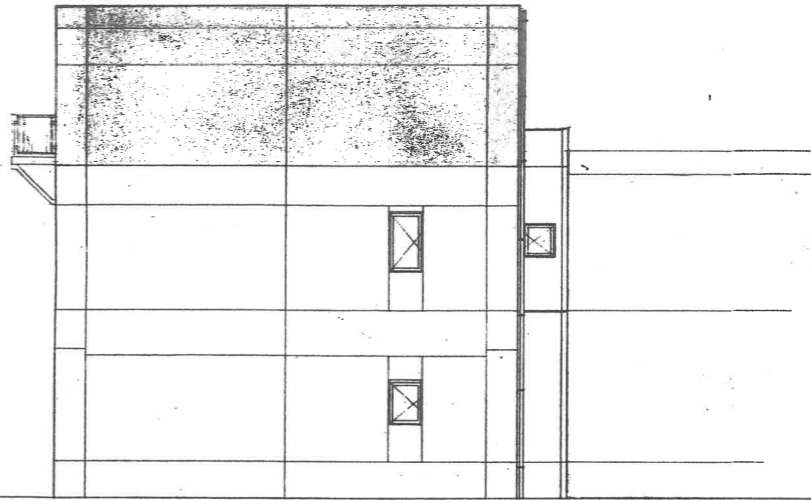
北侧立面图 1:100

西侧立面图 1:100

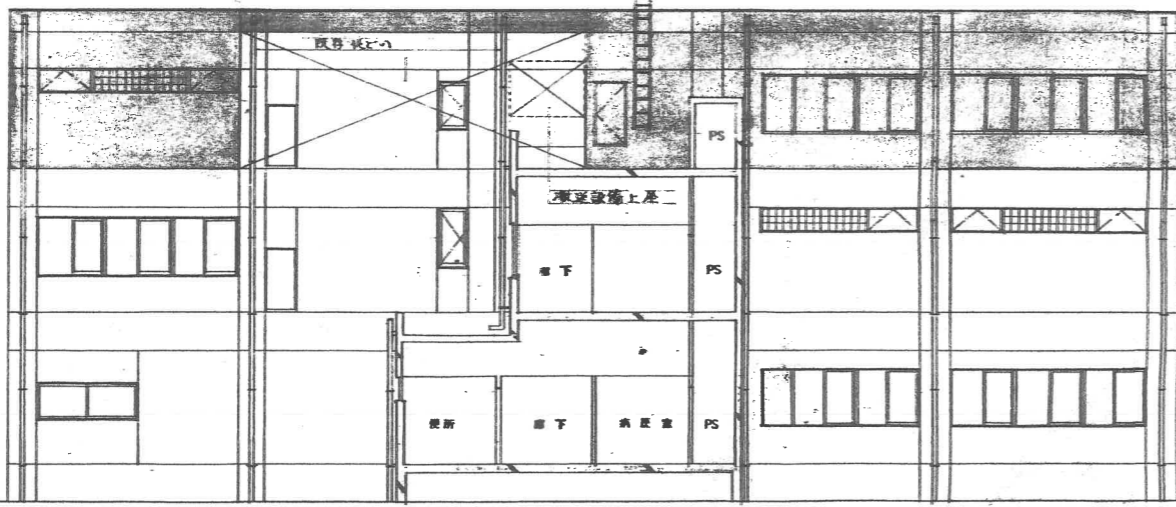
設計番号		市民病院病歴棟増築工事	
17479			
図面番号		増築取合解体部立面図	
6		縮尺	
		1:100	
製作日		石本建築事務所	
		東京・札幌・名古屋・大阪・九州・仙台・横浜	



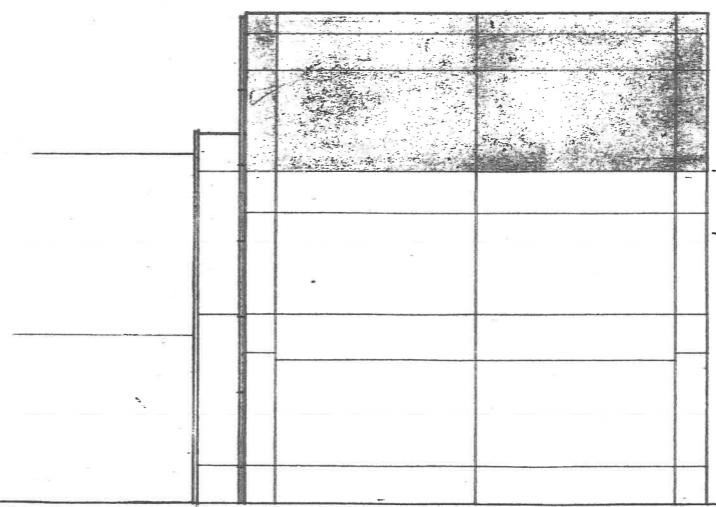
南側立面図 1:100



東側立面図 1:100

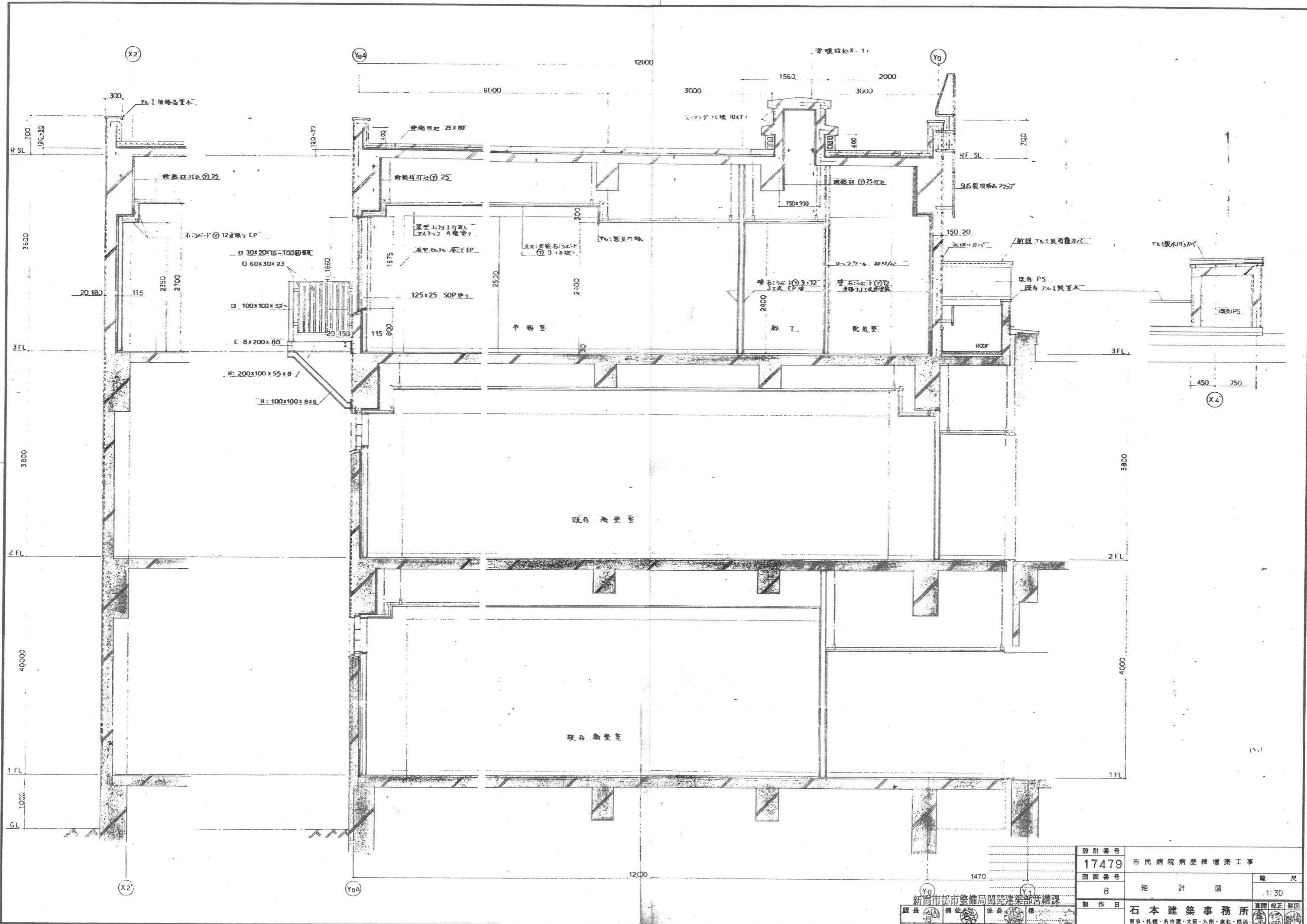


北側立面図 1:100



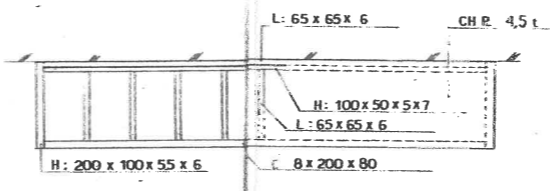
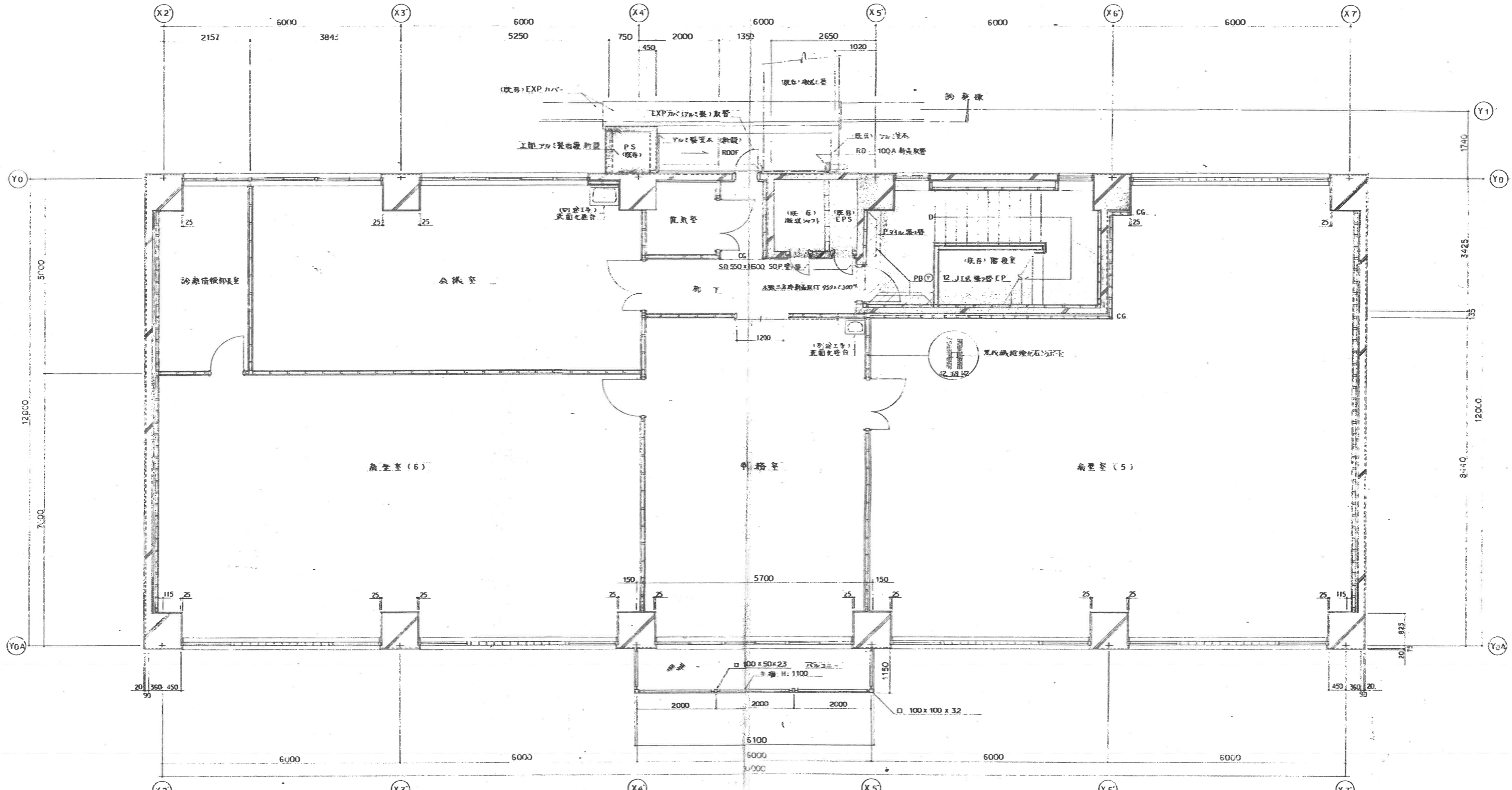
西側立面図 1:100

設計番号	17479	市民病院病歴棟増築工事
図面番号	7	立面図
製作日		1:100
新潟市都市整備局開発建築部営繕課		石本建築事務所
図長	縮尺	修正



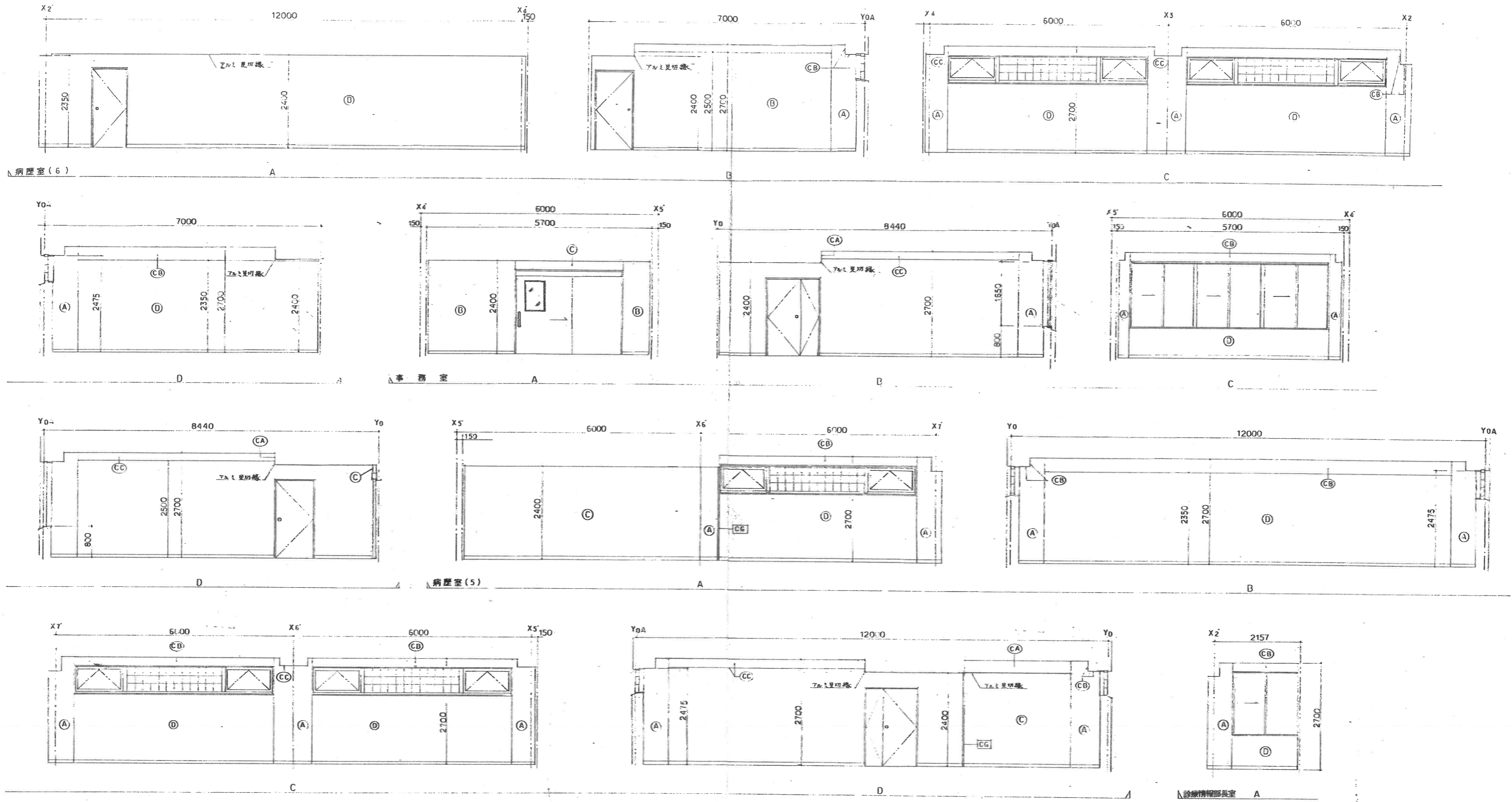
設計番号	17479	市民病院病棟増築工事
図面番号	8	矩計図
製作日		1:30
製作者	石本建築事務所	
製作者	東京・札幌・名古屋・大阪・九州・東北・横浜	

新橋市都市整備局開発建設部高層課
 課長 補佐 係長 係長



バルコニー床組図 (壁飾部を付く場合上PP)

設計番号	17479	市民病院病棟増築工事
図面番号	9	平面詳細図
製作日		
設計者	石本建築事務所	石本 誠一
監理者	新潟市都市整備局開発建築部営繕課	
縮尺	1:50	

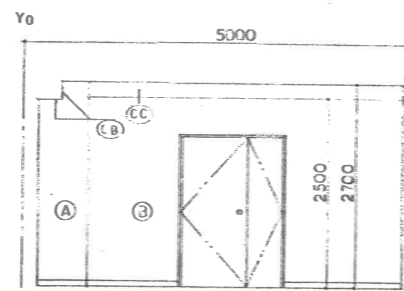
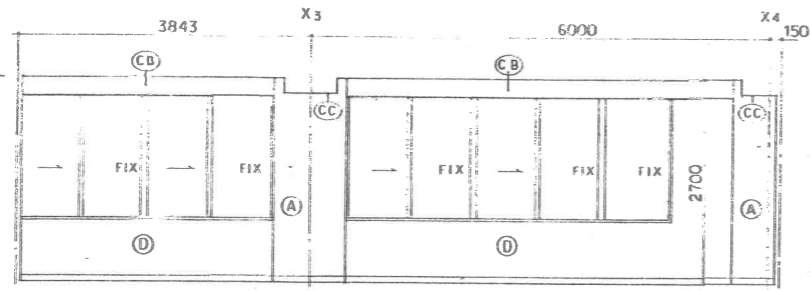


仕上区分表

記号	仕上材料
(A)	モルタル 金にて EP 塗り
(B)	軽鉄下地 PB ⑦ 9・12 J 工法 EP 塗り
(C)	軽鉄下地 PB ⑦ 12 J 工法 EP 塗り
(D)	R/C 下地 断熱材打込 ⑦ 25 軽鉄下地 PB ⑦ 12 J 工法 EP 塗り
(E)	軽鉄下地 PB ⑦ 12 直張り J 工法 EP 塗り
(CA)	軽鉄下地 化粧石膏ボード ⑨ 直張り (不燃)
(CB)	グラスボード ⑩ 12 直張り J 工法 EP 塗り
(CC)	合板型準 コンクリート打放し マスターフ A 種
(CG)	SUS 304 25×151 角パイプ加工 コーナーボード

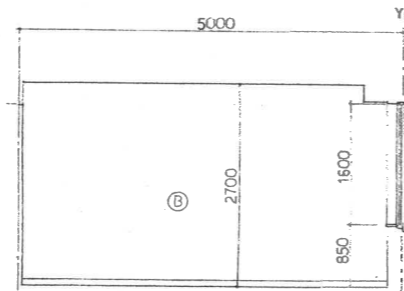
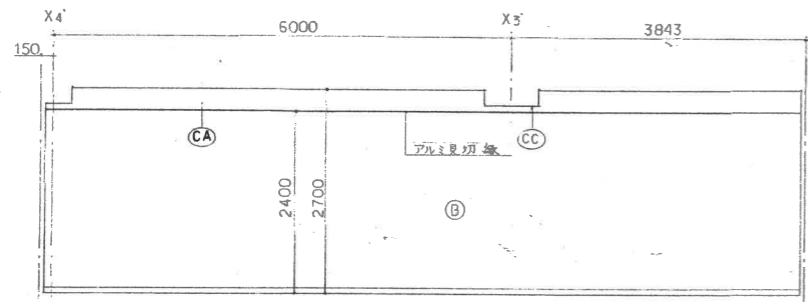
新潟市都市整備局開発建築部管轄課
 課長 田中 補佐 佐藤 係長 佐藤

設計番号	17479	市民病院病歴棟増築工事
図面番号	10	展開図 (1)
縮尺	1:50	
製作日		石本建築事務所
監理		石本建築事務所



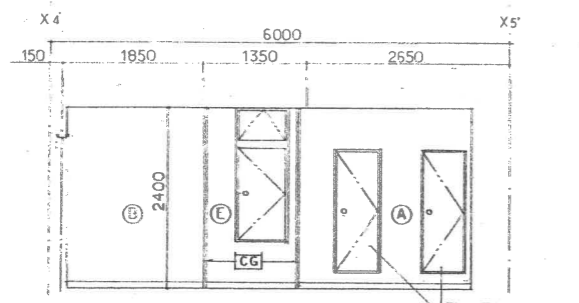
会議室 A

B



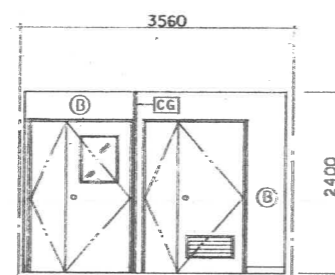
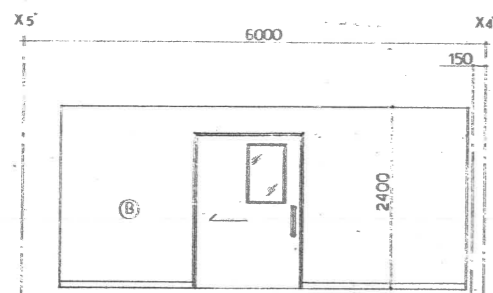
C

D



廊下 A

B



C

D

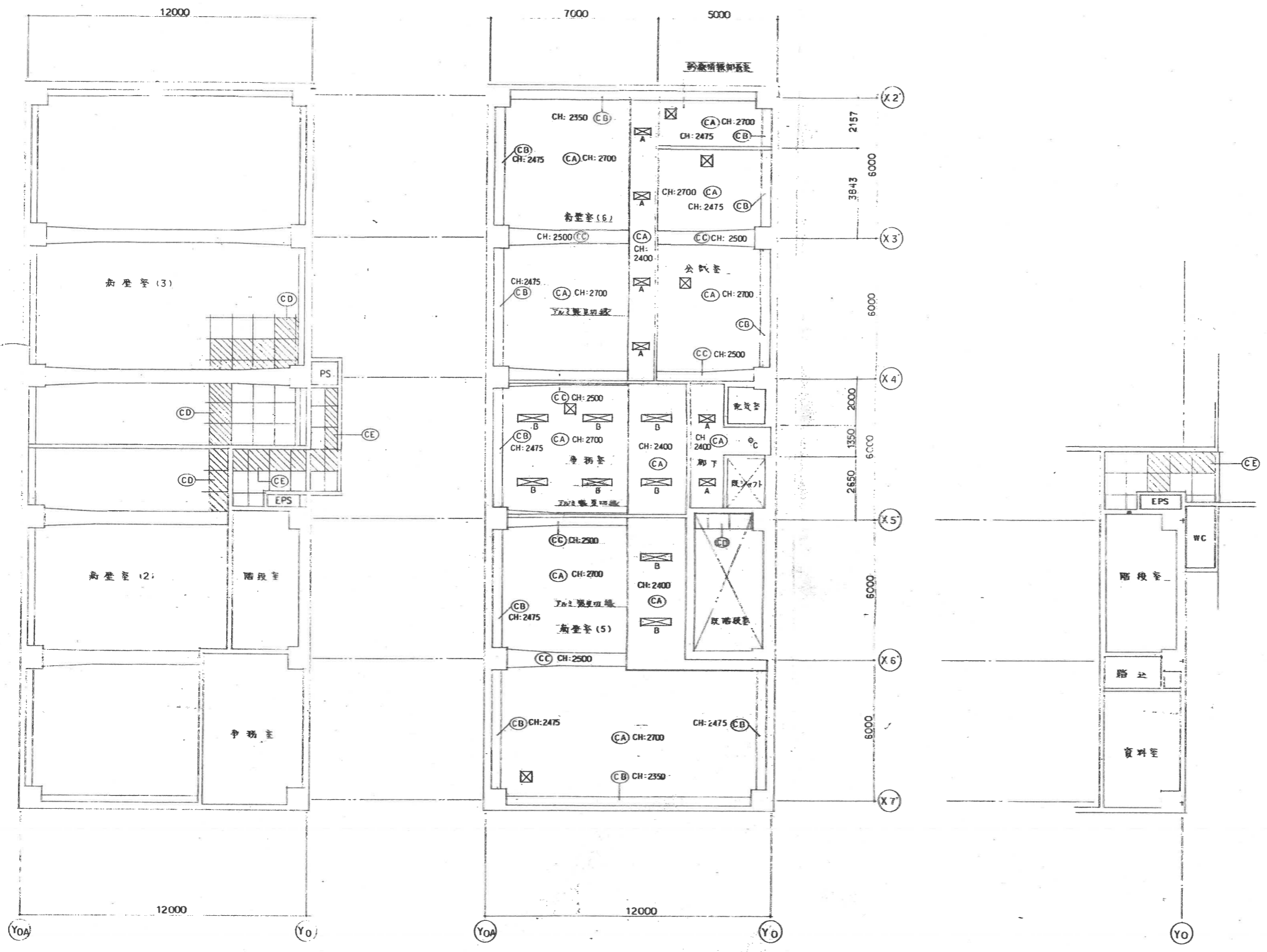
設計番号		17479	市民病院病歴棟増築工事
図面番号		11	展開図(2)
製作日			1:50
図長 	補注 	係長 	石本建築事務所 東京・札幌・名古屋・大阪・九州・東北・横浜

記号・形式	AW1 三連片引窓	AW2 三連片引・はめ殺し窓	AW3 三連片引窓 (セミエアタイト)	AW4 排煙突出し窓・ガラスブロック連窓
形状				
材質・仕上	アルミ アルマイト処理	アルミ アルマイト処理	アルミ アルマイト処理	アルミ アルマイト処理
見込	70	70	70	100
付属金物	標準金物一式 ニ重水切 ミニアングル 下部鉛線受アングル	標準金物一式 ニ重水切 ミニアングル 下部鉛線受アングル	標準金物一式 ニ重水切 ミニアングル 下部鉛線受アングル	標準金物一式 ニ重水切 ミニアングル 下部鉛線受アングル
ガラス	FL-5	FL-5	FL-6	ガラスブロック 190 x 190 x 95 (透明)
備考				硝煙口用マレターバ 突だし部 死体ワレ防止域
記号・形式	SD1 鋼製フラッシュ戸 (片開き)	SD2 鋼製フラッシュ戸 (親子開き)	SD3 ガラリ(ヒューズ付)鋼製戸 (親子開き)	SD4 排煙窓付外部用フラッシュ戸 (片開き)
形状				
材質・仕上	戸 スチール SOP 枠 スチール SOP	戸 スチール SOP 枠 スチール SOP	戸 スチール SOP 枠 スチール SOP	戸 スチール SOP 枠 スチール SOP
見込	戸 50 枠 190	戸 40 枠 175	戸 40 枠 127	戸 40 枠 220
くつざり	SUS 304 R 20 折曲加工	SUS 304 R 20 折曲加工	SUS 304 R 20 折曲加工	SUS 304 R 20 折曲加工
付属金物	標準金物一式	標準金物一式	標準金物一式	標準金物一式
備考	階段用臨時可鎖式両扉			ガラス 総入り 6.8
記号・形式	WD1 木製額入フラッシュ戸 (片開き)	WD2 木製額入フラッシュ戸 (片開き)	WD3 木製額入フラッシュ戸 (親子開き)	WD4 木製額入フラッシュ戸 (片開き)
形状				
材質・仕上	戸 幅木 SOP 枠 スチール SOP	戸 幅木 SOP 枠 スチール SOP	戸 幅木 SOP 枠 スチール SOP	戸 幅木 SOP 枠 スチール SOP
見込	戸 40 枠 127	戸 40 枠 127	戸 40 枠 127	戸 40 枠 167, 117
くつざり	SUS 304 目地板 4 x 12	SUS 304 目地板 4 x 12	SUS 304 目地板 4 x 12	SUS 304 目地板 4 x 12
付属金物	標準金物一式 ドアロープ アダプ シリダ本輪付	標準金物一式 ドアロープ アダプ シリダ本輪付	標準金物一式 ドアロープ アダプ シリダ本輪付	標準金物一式 鏡錠
備考	ガラス 型取 4.0	ガラス 型取 4.0	ガラス 型取 4.0	ガラス 型取 4.0

新潟市都市整備局開発建築部管轄課

設計番号	17479	市民病院病歴棟増築工事
図面番号	12	建具表
製作日		石本建築事務所

石本建築事務所
 東京・札幌・名古屋・大阪・九州・東北・横浜



2階天井伏図 1:100

3階天井伏図 1:100

1階天井伏図 1:100

天井仕上区分

記号	説明	材料
(CA)	鉄板下地 化粧石膏ボード 9直張り (不燃)	
(CB)	アクリルボード ⑦ 12 JI 或 EP 塗	
(CC)	金属製枠、インフラット釘張り マスター 塗料 A 塗	
(CD)	既存軽鋼下地 化粧石膏ボード 9直張り (不燃) 張り替	
(CE)	アクリルボード ⑦ 12 目隠し張りの EP 塗料	

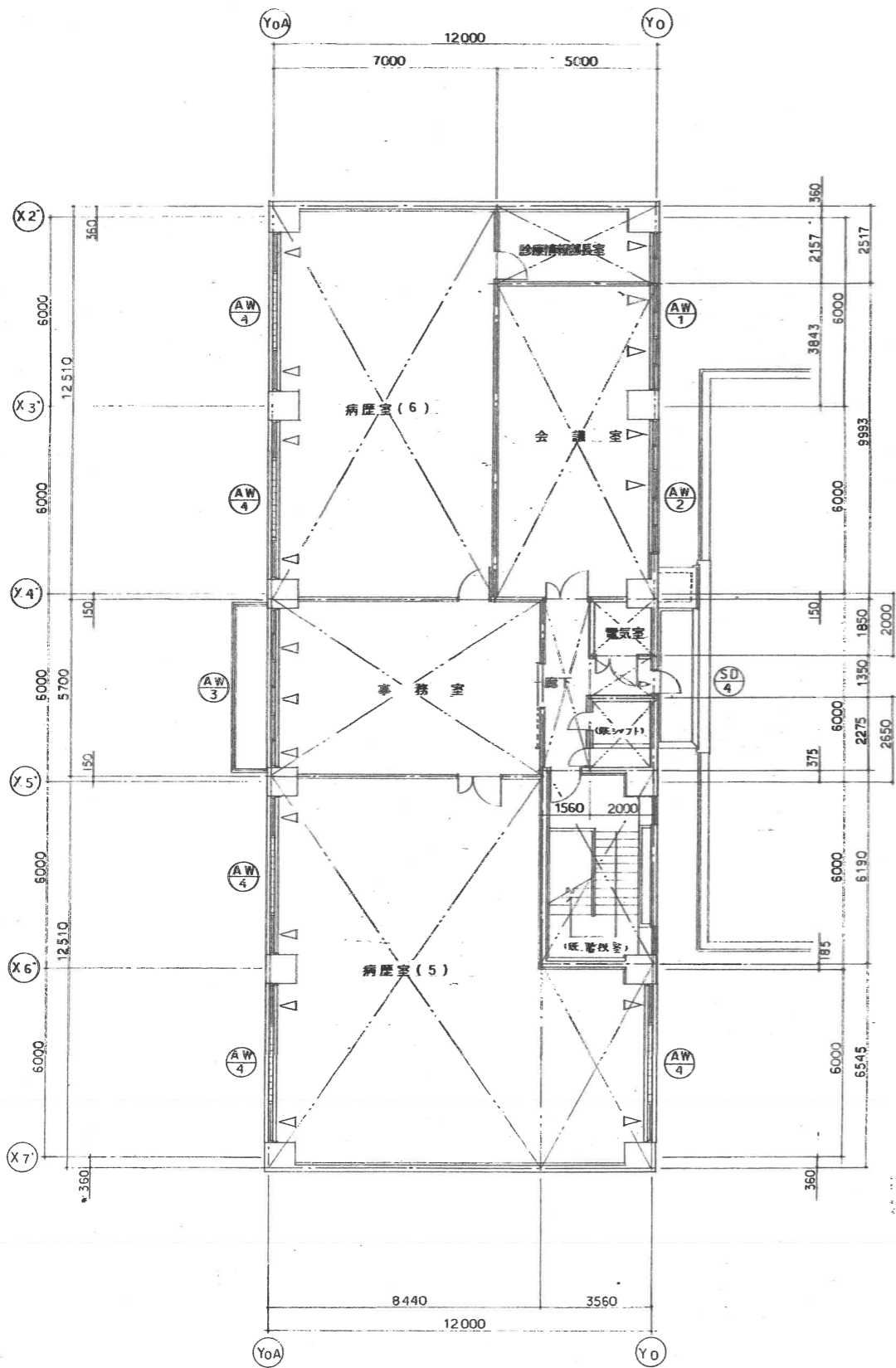
天井開口リスト

記号	開口形状	開口寸法	数量	面積
A	⊠	303 x 650	6	300 x 300
B	⊠	303 x 1250	8	750 x 750
C	○	150φ	14	900 x 900
	⊠	450 x 450	5	点検口

新潟市立市立局開発建築部管轄課

設計番号	17479	市民病院病歴棟増築工事
図面番号	13	天井伏図
製作日		

石本建築事務所
東京・札幌・名古屋・大阪・九州・東北・横浜

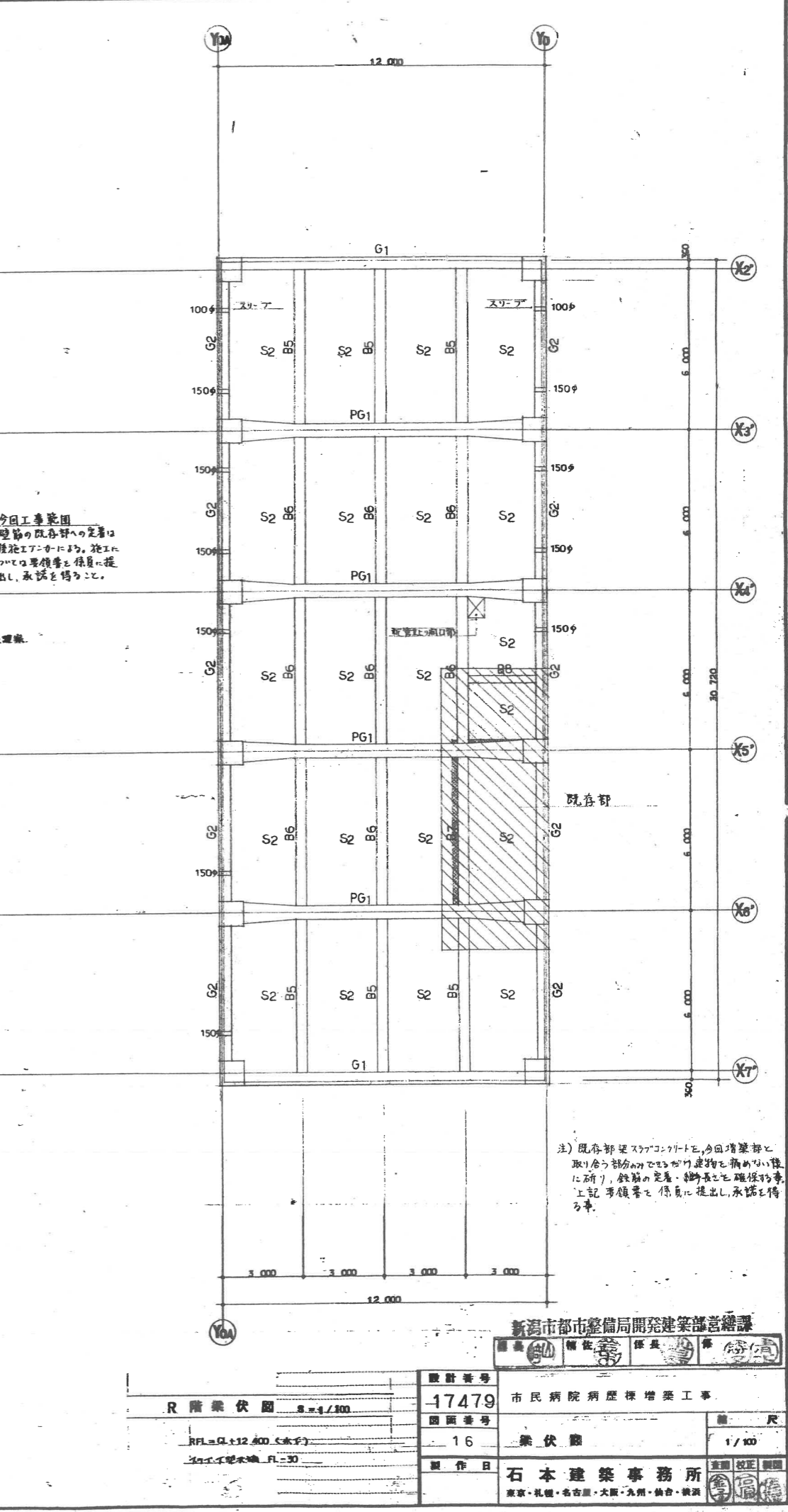
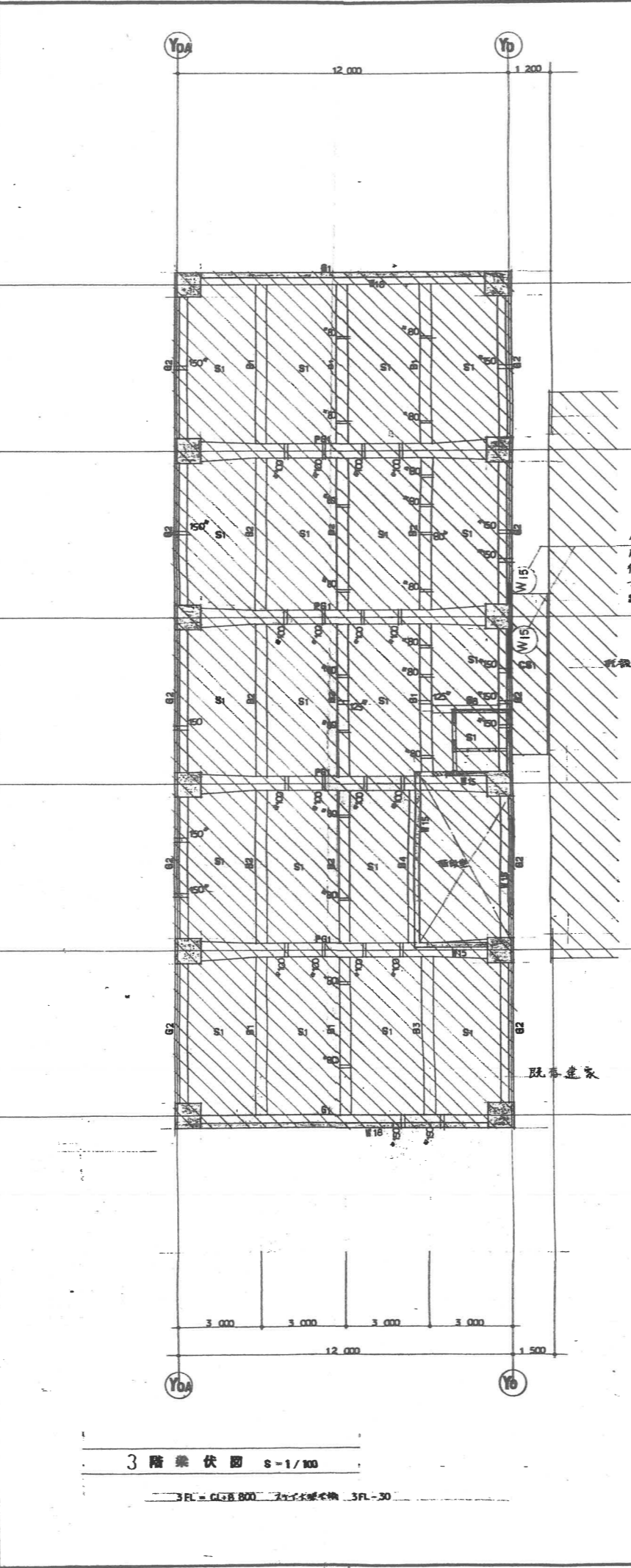
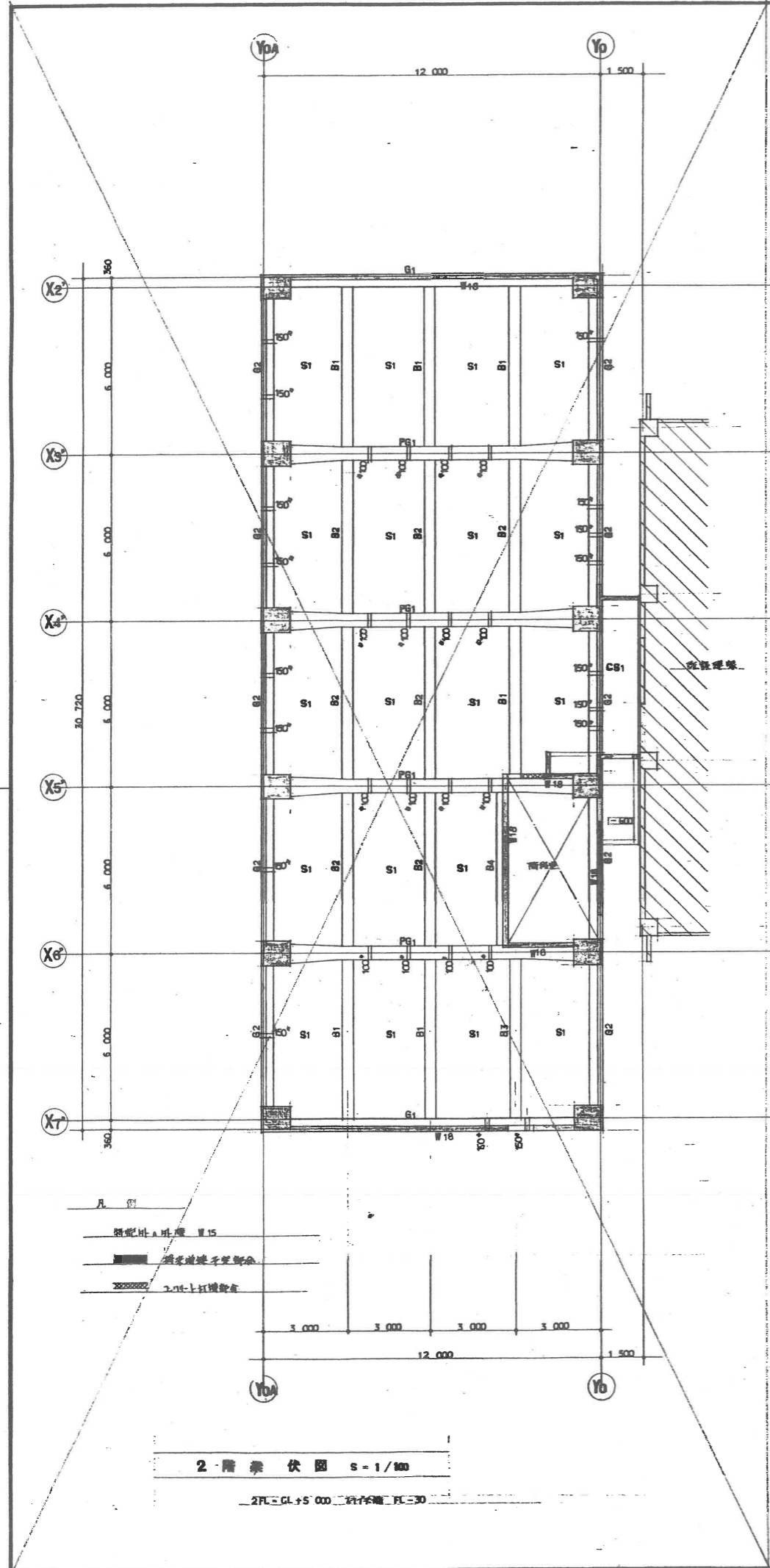


3階防災計画図 1:100

排煙計画表

	病室(5)	事務室	病室(5)	診療情報管理室	会議室	廊下	電気室	既存部分	計
床面積	A=7.0 x 12.51 =87.57 M ²	A=8.44 x 5.7 =48.108 M ²	A=8.44 x 12.51 + 3.56 x 6.545 =128.885 M ²	A=5.0 x 2.517 =12.585 M ²	A=5.0 x 9.993 =49.965 M ²	A=1.56 x 5.475 + 2.0 x 1.35 =11.241 M ²	A=2.0 x 1.85 =3.70 M ²	A=20 x 2.275 + 3.56 x 6.19 =26.586 M ²	368.64 M ²
必要排煙面積	1.751 M ²	0.962 M ²	2.578 M ²	0.252 M ²	0.999 M ²	0.225 M ²			
w x h x N 有効排煙面積	1.157 x 0.42 x 4 =1.943 M ²	1.596 / 2 x 0.45 x 3 =1.077 M ²	1.157 x 0.42 x 6 =2.915 M ²	1.59 / 2 x 0.45 x 1 =0.359 M ²	1.596 / 2 x 0.45 x 2 =1.442 M ²	0.68 x 0.345 x 1 =0.234 M ²			
	1.943 > 1.751	1.077 > 0.962	2.915 > 2.578	0.359 > 0.252	1.442 > 0.999	0.234 > 0.225			
備考	h:算定: 排煙口上端 FL+2420 排煙口下端 FL+2000 h=2420-2000=420	h:算定: 排煙口上端 FL+2450 排煙口下端 FL+2000 h=2450-2000=450	病室(6)に同じ	事務室に同じ	事務室に同じ	h:算定: 排煙口上端 FL+2345 排煙口下端 FL+2000 h=2345-2000=345			

設計番号		17479		市民病院病室棟増築工事	
図面番号		14		3階防災計画図	
製作日				石本建築事務所	
新潟市都市整備局開発建築部営繕課		調査 修正 製図		東京・札幌・名古屋・大阪・九州・東北・横浜	

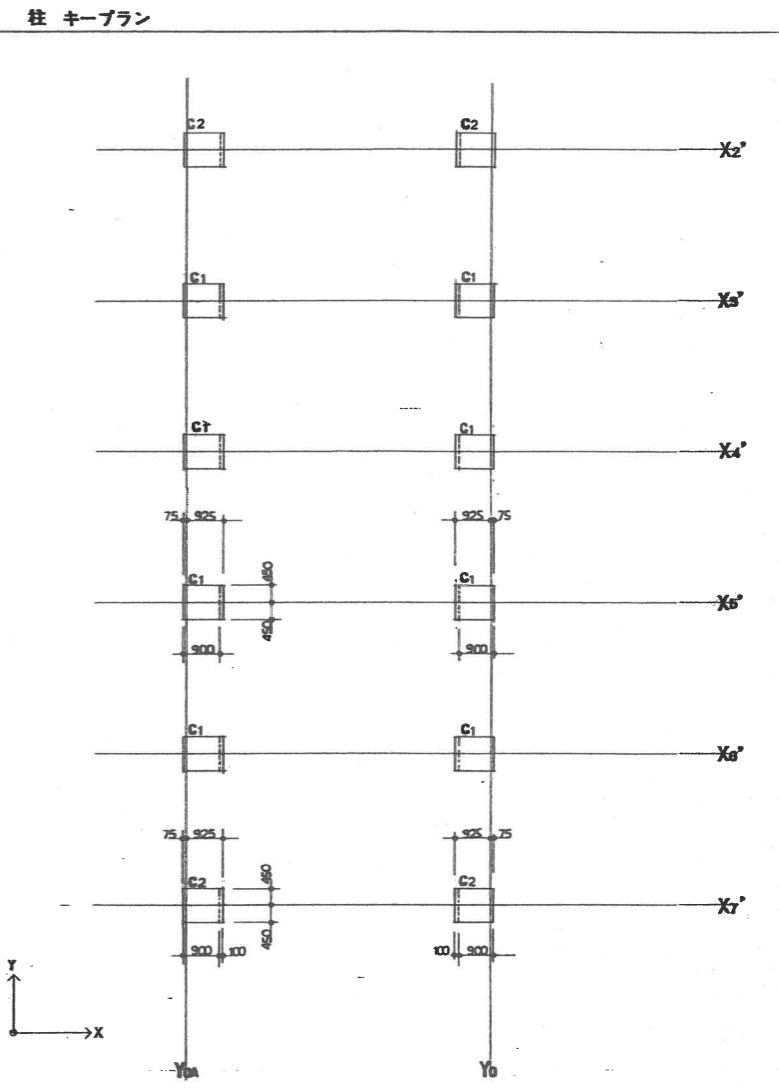


大梁 断面リスト S=1/30

柱 断面リスト S=1/30

符号	PG1					G1	G2								
	端部	中央部	全	端部	中央部		端部	中央部	全	端部	中央部				
R															
階	b × D	700 × 1100	500 × 1100	450 × 1100	450 × 1100	450 × 1100	450 × 1100	450 × 1100	450 × 1100	450 × 1100	450 × 1100	450 × 1100	450 × 1100	450 × 1100	450 × 1100
	上端筋	4 - D25	3 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25	3 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25
	下端筋	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25	4 - D25
	スターラップ	D13 φ100	D13 φ200	D13 φ200	D13 φ200	D13 φ200	D13 φ200	D13 φ200	D13 φ200	D13 φ200	D13 φ200	D13 φ200	D13 φ200	D13 φ200	D13 φ200

符号	C1			C2		
	柱脚	柱面	全	柱脚	柱面	全
3						
階	b × D	900 × 900	900 × 900	900 × 900	900 × 900	900 × 900
	主筋	16 - D25	16 - D25	16 - D25	16 - D25	16 - D25
	フープ	D13 φ80	D13 φ80	D13 φ80	D13 φ80	D13 φ80



小梁 断面リスト S=1/30

符号	B1			B2			B3			B4			B5			B6			B7		B8		B9	
	外端	中央部	内端	端部	中央部	端部	中央部	全	外端	中央部	内端	端部	中央部	全	外端	中央部	内端	端部	中央部	全	全	全	全	
	b × D	400 × 600	400 × 600	400 × 600	400 × 600	400 × 600	400 × 600	400 × 600	400 × 600	400 × 600	400 × 600	400 × 600	400 × 600	400 × 600	400 × 600	400 × 600	400 × 600	400 × 600	400 × 600	400 × 600	250 × 500	250 × 500	250 × 500	250 × 500
	上端筋	3 - D22	3 - D22	5 - D22	5 - D22	3 - D22	3 - D22	3 - D22	3 - D22	3 - D22	3 - D22	4 - D22	4 - D22	3 - D22	4 - D22	4 - D22	3 - D22	4 - D22	3 - D22	3 - D22	2 - D18	2 - D18	2 - D18	2 - D18
	下端筋	3 - D22	5 - D22	4 - D22	4 - D22	5 - D22	3 - D22	7 - D22	3 - D22	3 - D22	4 - D22	3 - D22	3 - D22	4 - D22	3 - D22	3 - D22	3 - D22	3 - D22	3 - D22	3 - D22	2 - D18	2 - D18	2 - D18	2 - D18
	スターラップ	D13 φ100	D13 φ100	D13 φ100	D13 φ100	D13 φ100	D13 φ100	D13 φ100	D13 φ100	D13 φ100	D13 φ100	D13 φ100	D13 φ100	D13 φ100	D13 φ100	D13 φ100	D13 φ100	D13 φ100	D13 φ100	D13 φ100	D13 φ100	D13 φ100	D13 φ100	D13 φ100

新潟市都市整備局開発建設部営繕課

設計番号 17479 市民病院病歴棟増築工事

図面番号 17 大梁・柱・小梁断面リスト S=1/30

製作日 石本建築事務所

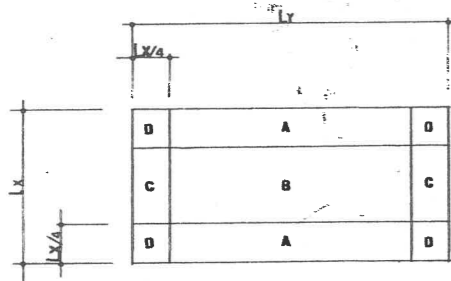
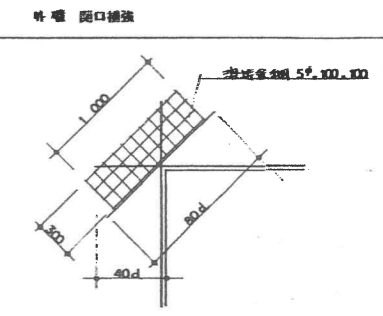
東京・札幌・名古屋・大阪・九州・仙台・横浜

スラブ断面リスト

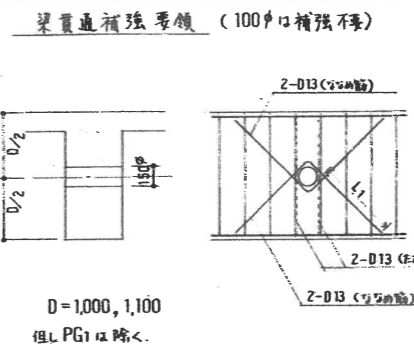
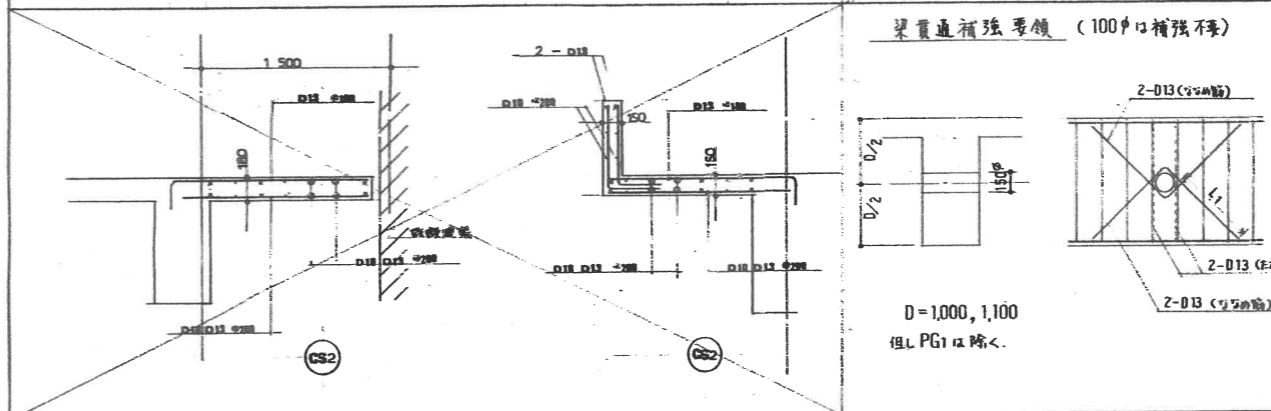
符号	T	位置	短辺方向			長辺方向		
			A	B	D C	C	B	D A
S1	180	上層筋	D13 φ200	←	←	D18 D13 φ200	←	←
		下層筋	D13 φ200	←	←	D18 D13 φ200	←	←
S2	150	上層筋	D18 D13 φ200	←	←	D18 D13 φ200	←	←
		下層筋	D18 D13 φ200	←	←	D18 D13 φ200	←	←
CS1	180	上層筋	D13 φ180	←	←	D18 D13 φ200	←	←
		下層筋	D18 D13 φ200	←	←	D18 D13 φ200	←	←
CS2 (階段筋)	150	上層筋	D13 φ180	←	←	D18 D13 φ200	←	←
		下層筋	D18 D13 φ200	←	←	D18 D13 φ200	←	←

壁断面リスト S-1/30

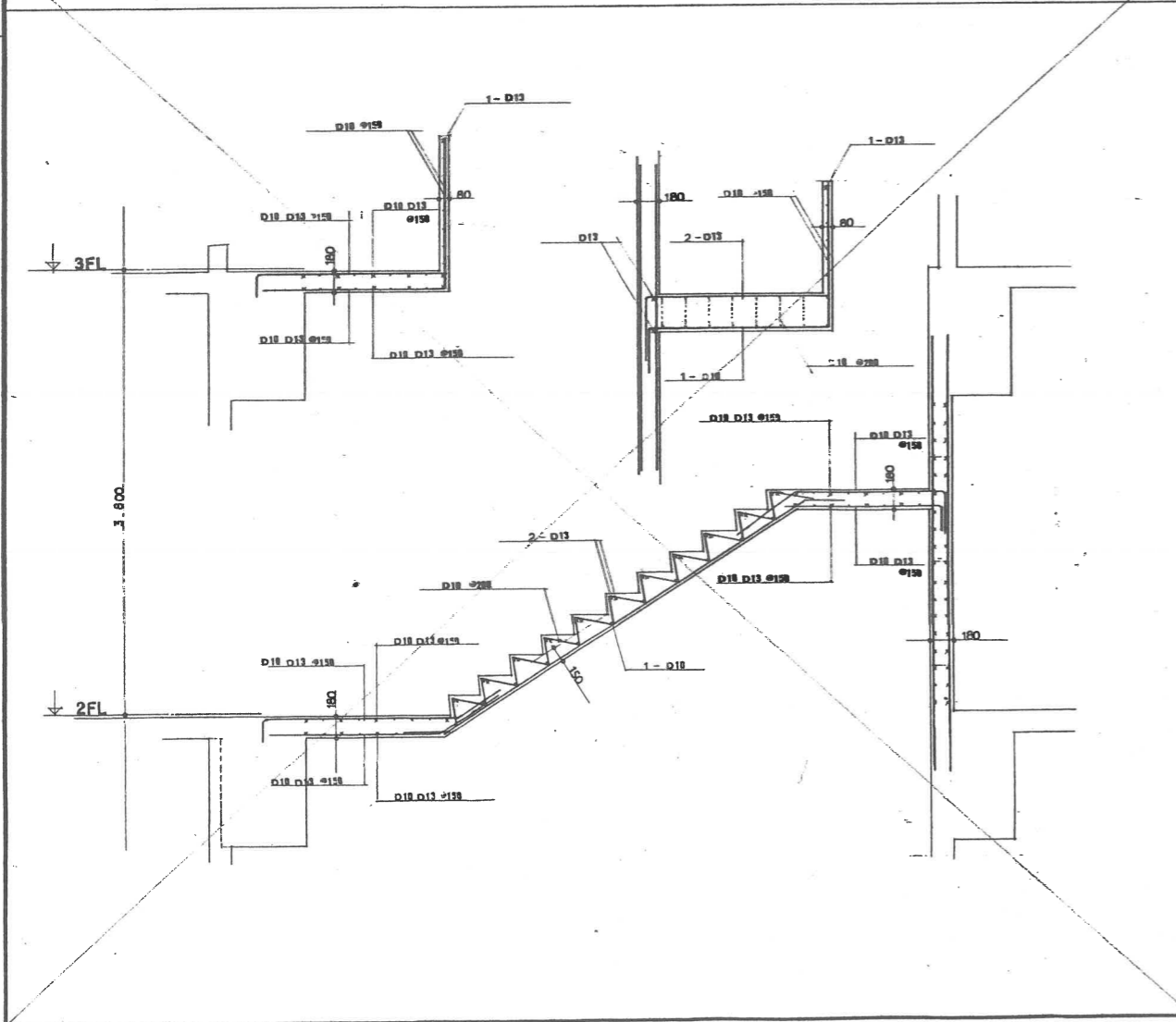
符号	W12	W15	W18	軽集工コンクリートD=11mm	外壁 開口補強
断面					
縦筋	D18 φ200	D18 φ200	D13 φ180	D18 φ400	
横筋	D18 φ200	D18 φ200	D13 φ180	D18 φ400	
開口補強	縦	2 - D13	2 - D13	1 - D13	
	横	1 - D13	2 - D13	2 - D13	
	斜	1 - D13	1 - D13	2 - D13	



壁配筋詳細図 S-1/30



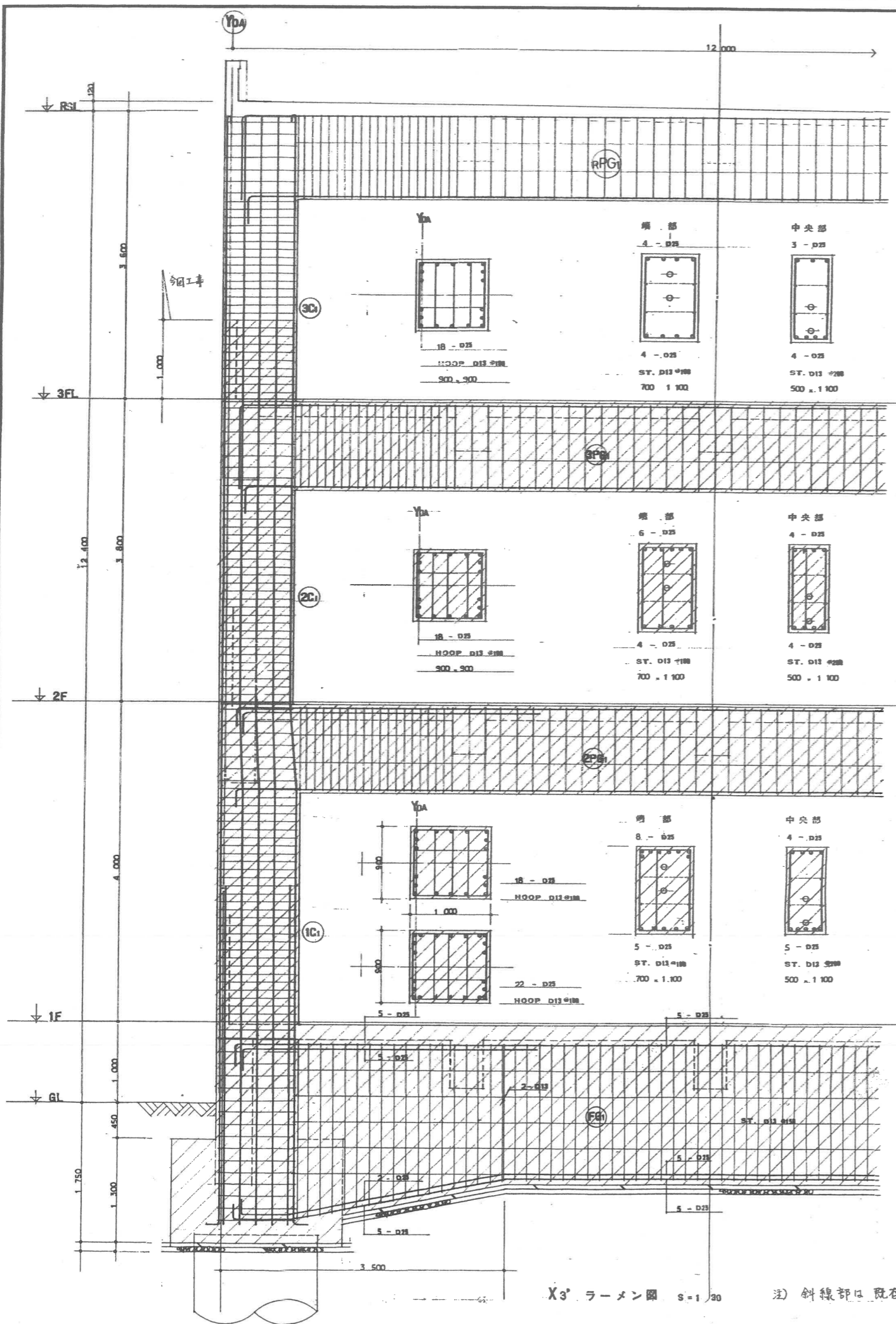
階段配筋詳細図 S-1/30



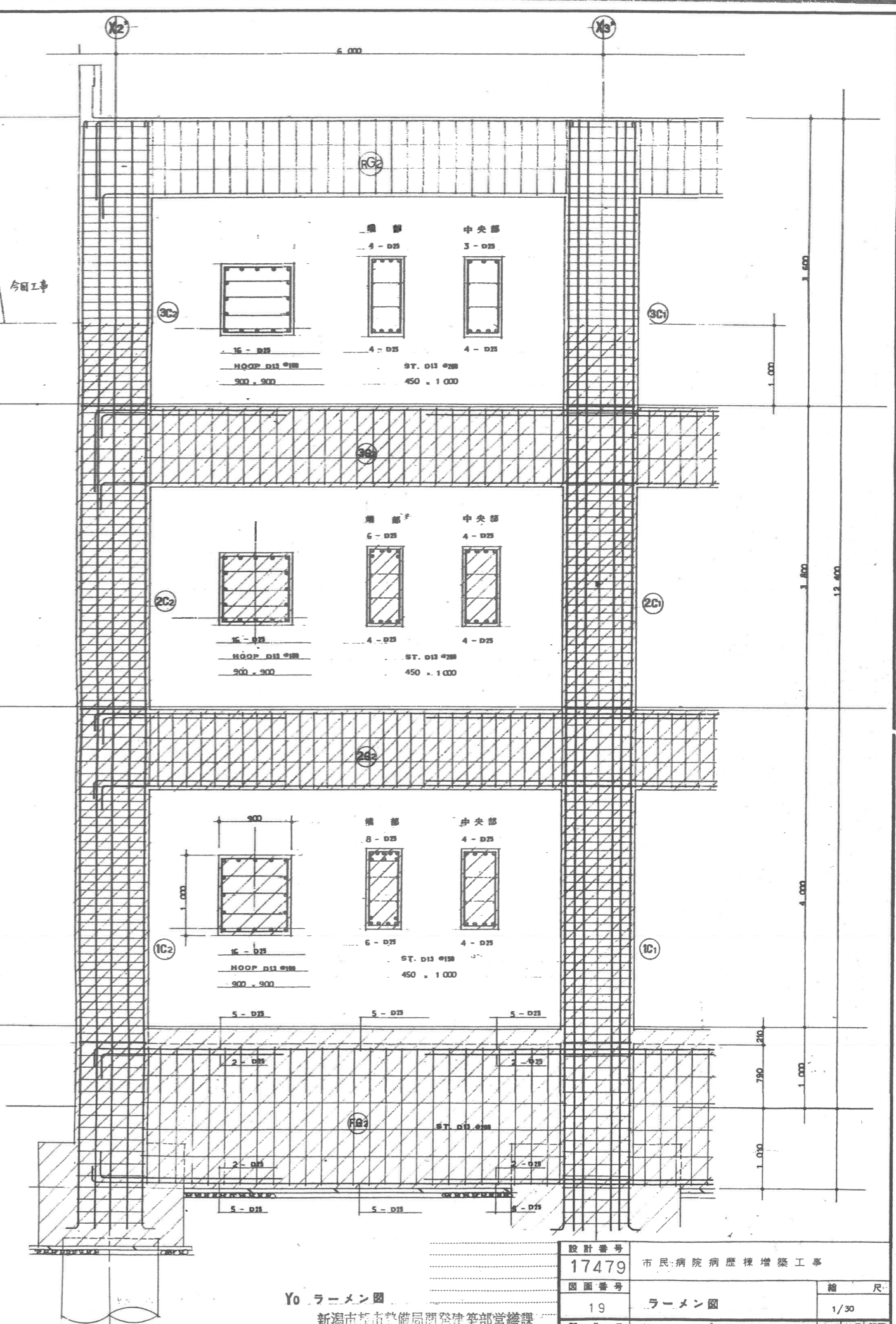
新潟市都市整備局開発建設部管線課

設計番号	17479	市民病院病歴棟増築工事
図面番号	18	スラブ、壁、階段リスト
製作日		石本建築事務所

東 京・札幌・名古屋・大阪・九州・仙台・横浜



X3' ラーメン図 s=1/30 注) 斜線部は既存建築を示す。



Y0 ラーメン図

新潟市都市整備局開発建設部営繕課
 課長 補佐 係長 係員

設計番号	17479	市民病院病歴棟増築工事
図面番号	19	ラーメン図
製作日		石本建築事務所
		東京・札幌・名古屋・大阪・九州・仙台・横浜

縮尺
1/30

実測 校正 製図

プレストレストコンクリート工事特記仕様書

1. 総則 目次

- 1-1 適用の範囲
本工事は、設計図書並びに下記特記仕様書のほか、日本建築学会建築工事標準仕様書鉄筋コンクリート工事(JASSS)及び、同学会プレストレストコンクリート(以下PCという)設計施工規準・同解説の規定による。また、これらに示されていない事項については、監理者の指示による。
- 1-2 構造方式
本構造の方式は、鉄筋コンクリート造(RC造)とPC造とを組み合わせた「現場打ち一体式プレストレストコンクリート造」である。
- 1-3 プレストレス導入方式及び定着工法
プレストレス導入は、ポストテンション方式であり、定着工法はYSL工法とする。
- 1-4 PC工事施工業者
PC工事専門会社の責任施工とする。
- 1-5 施工計画
施工の順序・方法・工程などの施工計画は工事着手前によく検討し、その計画書を監理者に提出して承諾を受ける。

2. 本才 材斗

- 2-1 鉄筋
JIS G3112熱延圧延異形棒鋼2種(SD30)の規格品とする。
- 2-2 PC鋼材
JIS G3536PC鋼より線(SWPRTB)及びJIS G3109PC鋼線の規格品とする。
- 2-3 セメント
JIS G5210普通ポルトランドセメントとする。
- 2-4 混和材料
コンクリート中に表面活性剤などの混和材料を用いる場合、その品質・使用量については、監理者の指示を受けること。

3. 型枠 木枠

- 3-1 組立取り外し
 - 1) 型枠は、プレストレス導入時のコンクリートの歪みを拘束しないような構造とし、かつプレストレス導入に伴う反力分布の変化を考慮して、充分なる耐力となるよう留意しなければならない。
 - 2) 型枠の存置期間は、PC部分ではプレストレスの導入完了までとする。
 - 3) プレストレスを与える梁・床スラブ及び屋根スラブの型枠の支柱はプレストレスの導入が完了するまでは取り外し及び盛り換えを絶対に行ってはならない。
 - 4) PC大梁のスリーブ貫通は図示に依る。
 - 5) PC用コンクリートは、固練りコンクリートの振動打となるので打ち込みの際セメントペーストが露れることのないようにすること。
 - 6) PC造部分の型枠組立順序についてはPC鋼材の配置に影響され決定することが多いため、充分注意すること。

4. 配筋及び記録

- 4-1 鉄筋
鉄筋は正確な配置をし、コンクリート打ちの際に崩れないように強固に組み立てなければならない。
- 4-2 PC鋼材
 - 1) 緊張の定着具はコンクリート打ち込み前に型枠の内側に正確強固に取付けることを原則とする。
 - 2) グラウト用孔及び排気管にペーストがつかまらないように充分養生しておく。
 - 3) PC鋼材を露天に放置して錆などで損傷させてはならない。
 - 4) PC鋼材の加工組立を行う場合、加熱又は溶接を行ってはならない。
 - 5) PC鋼材定着部の露出部はプレストレス導入後、すみやかに後打ちの無収縮モルタル等で完全に保護しなければならない。
 - 6) PC鋼材の配置後、コンクリート打ちに先立ち監理者の検査を受けなければならない。

5. コンクリート

- 5-1 品質
PC部分コンクリートの調合は下記を標準とする。

使用箇所	PC部分
設計基準強度	240kg/cm ²
プレストレス導入時圧縮強度	240kg/cm ²
セメント量	400~450kg/cm ³
水セメント比	構造特記仕様書による
骨材最大寸法	25mm
スランプ(入-出)値	18mm以下
- 5-2 テストピース
コンクリート強度試験用供試体の採取及び養生は、下記及び構造特記仕様書による。

	7日	プレストレス導入直前	28日	予備	合計
現場養生	3本	3本	3本	3本	12本
標準養生	3本	-	3本	-	6本
- 5-3 コンクリート打設
 - 1) PC鋼材・鉄筋・型枠及び定着具が移動したり、損傷したりしないように注意する。
 - 2) PC鋼材のケーブルシース内にはセメントペーストが入ってはならない。
 - 3) ケーブルシースにはパイプブレーカーが直接触れないように注意すること。
 - 4) コンクリート打ち込みは、打設現場に出来る限り近づけて垂直に打ち込み「片押し打ち」はさけなければならない。
 - 5) 原則として、PC部におけるコンクリートの打ち継ぎは行ってはならない。

6. 緊張 引長

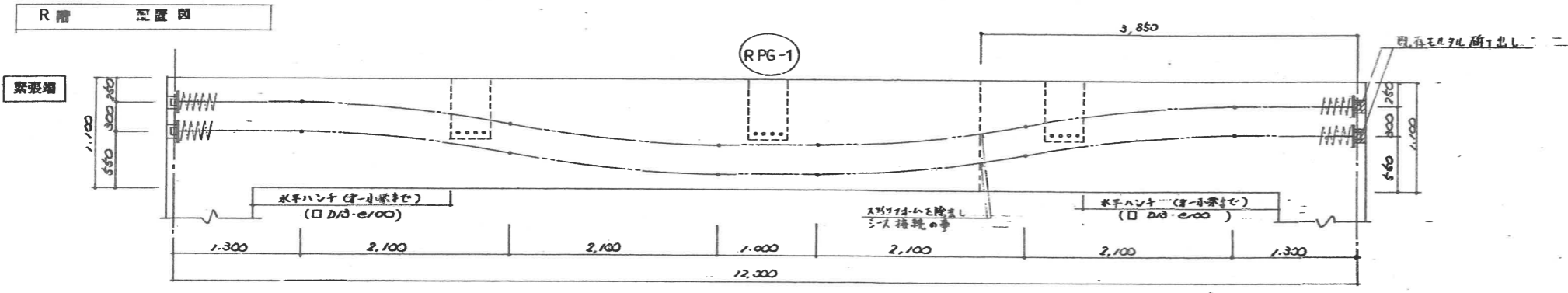
- 6-1 準備
緊張強度は前もってキャリブレーションを行っておき、コンクリートが所定の強度に達したことを確認の上で監理者の指示によりプレストレス導入作業を行う。
- 6-2 順序
プレストレス導入順序は、局部的に完了してしまうことなく、構造全体にわたって進めなければならない。
- 6-3 緊張力
現場におけるPC鋼材の施工時緊張力は別図参照のこと。
- 6-4 導入力の管理
PC鋼材に与える緊張力は荷重計の示度及びPC鋼材の伸びによって求め、いずれの方法による値も所定の緊張力と±%以上の差があってはならない。

7. グラウティング

- 7-1 調合
グラウトの割合は重量比で次を標準とする。

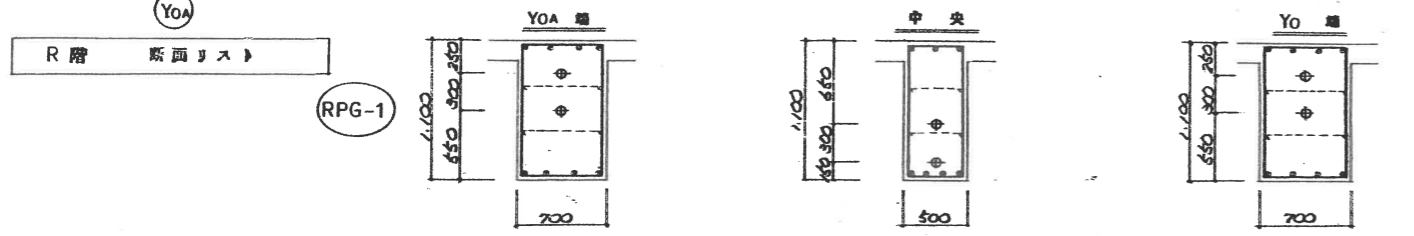
ポルトランドセメント	100
水	40~50
ポゾリス	0.25
アルミニウム粉末	0.005
- 7-2 作業
 - 1) シース内の閉塞の有無を確認する。
 - 2) 注入孔部分のグラウトと排水口より流出したグラウトとが同じ程度になるまで注入を続けること。

	設計番号	17479	市民病院病歴棟増築工事
	図面番号	20	縮 尺
	製作日		
新潟市都市整備局開発建築部営繕課		石本建築事務所	
課長 岡山 補佐 菅野 係長 藤原 係長 藤原		東京・札幌・名古屋・大阪・九州・東北・横浜	



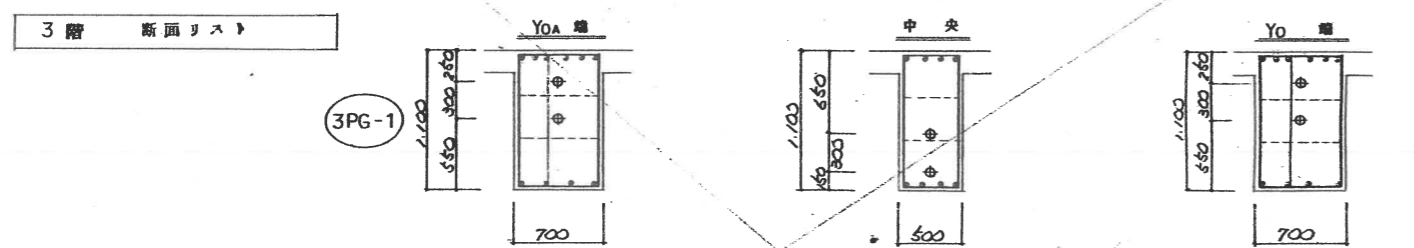
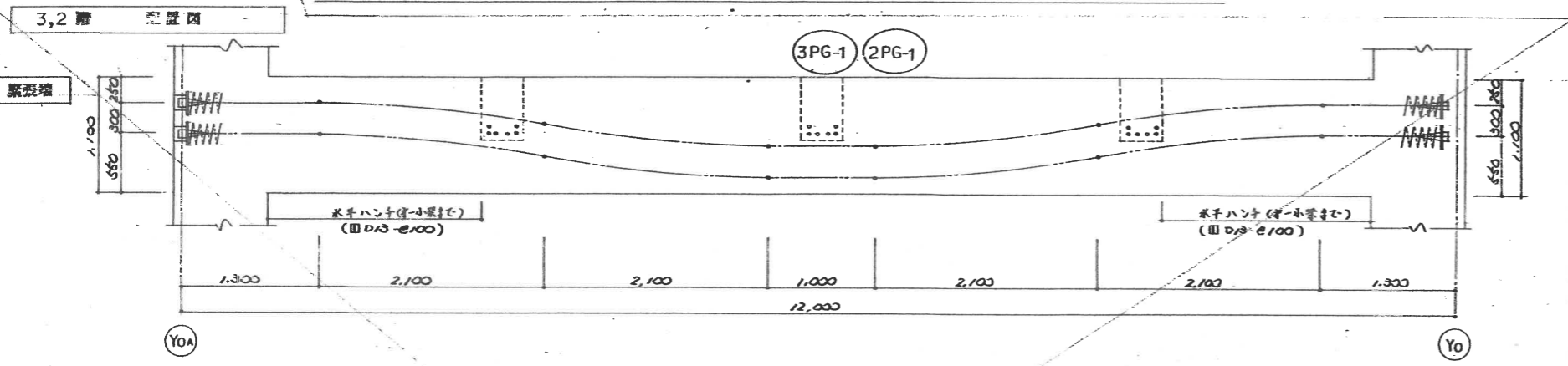
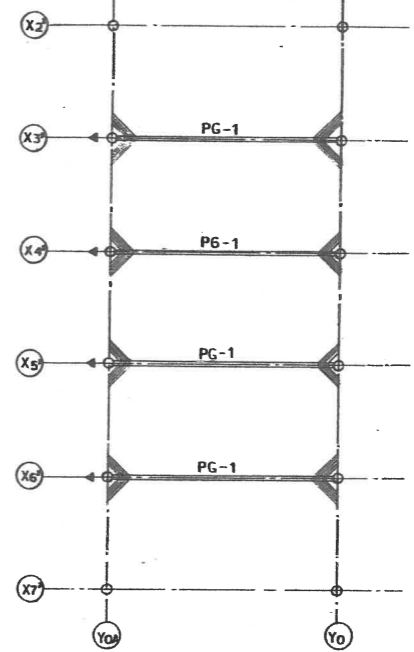
使用材料	
コンクリート	設計基準強度 $F_c = 240 \text{ kg/cm}^2$
	導入時圧縮強度 $F = 240 \text{ kg/cm}^2$
	許容圧縮応力度 $f_c = 1/3 F_c = 80 \text{ kg/cm}^2$
P	使用材料 E5-7x12.7 ^o スラント
C	断面積 $A_p = 6.91 \text{ cm}^2/\text{ケーブル}$
材	引張荷重 $P_u = 130.9 \text{ kg}$
	降伏点荷重 $P_y = 111.3 \text{ kg}$
	張力 (毛重) $P_o = 89.0 \text{ kg}$

注) 1. 張力は、ケーブル着床 緊張機 部を示す (上、下線ケーブル同レ)

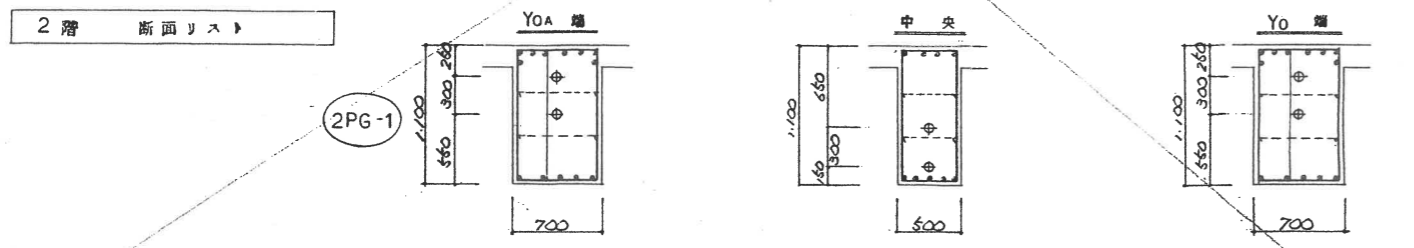


PC 材	2 ^o -E5-7x12.7 ^o スラント		
上端筋	4-D25	3-D25	4-D25
下端筋	4-D25	4-D25	4-D25
スタ-ラップ	□ D13-e100	□ D13-e200	□ D13-e100
腹筋	4-D10		

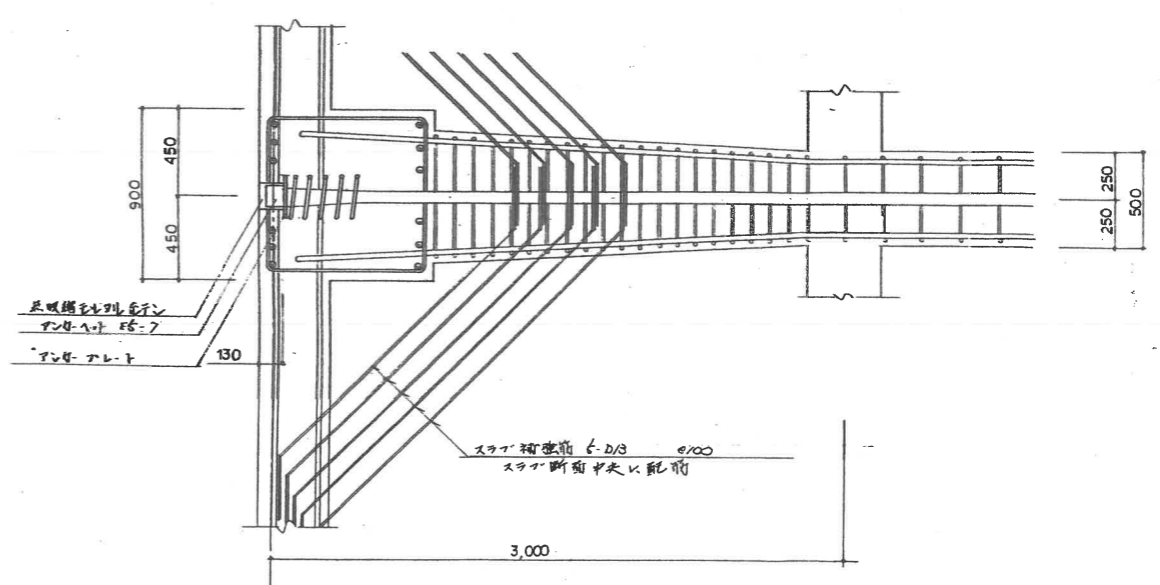
KEY PLAN S-



PC 材	2 ^o -E5-7x12.7 ^o スラント		
上端筋	6-D25	4-D25	6-D25
下端筋	4-D25	4-D25	4-D25
スタ-ラップ	□ D13-e100	□ D13-e200	□ D13-e100
腹筋	4-D10		



PC 材	2 ^o -E5-7x12.7 ^o スラント		
上端筋	8-D25	4-D25	8-D25
下端筋	6-D25	6-D25	6-D25
スタ-ラップ	□ D13-e100	□ D13-e200	□ D13-e100
腹筋	4-D10		

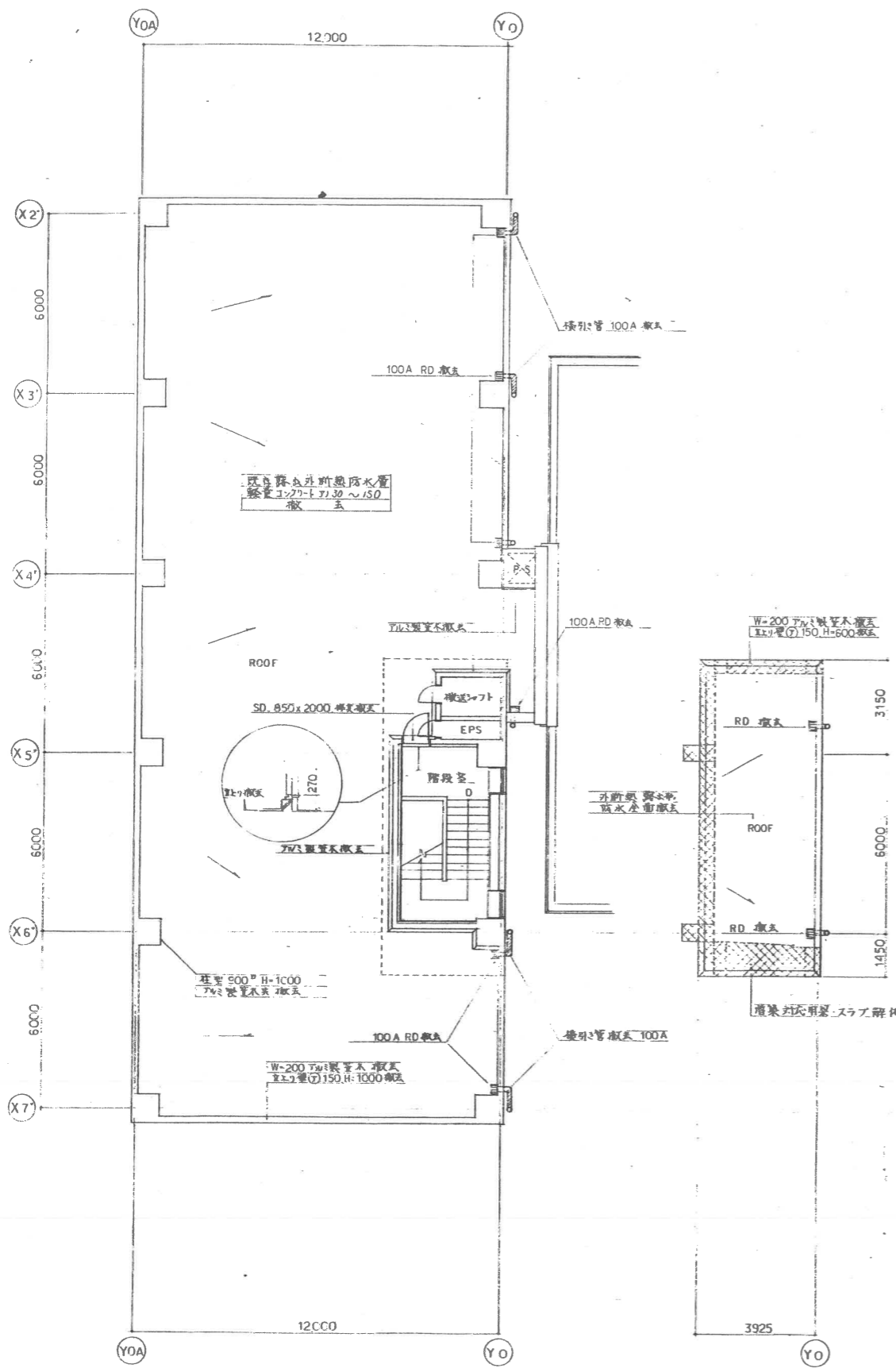


緊張端 平面詳細図 s = 1/20

設計番号	17479	市民病院病棟増築工事
図面番号	21	PC 大梁 断面リスト
製作日		

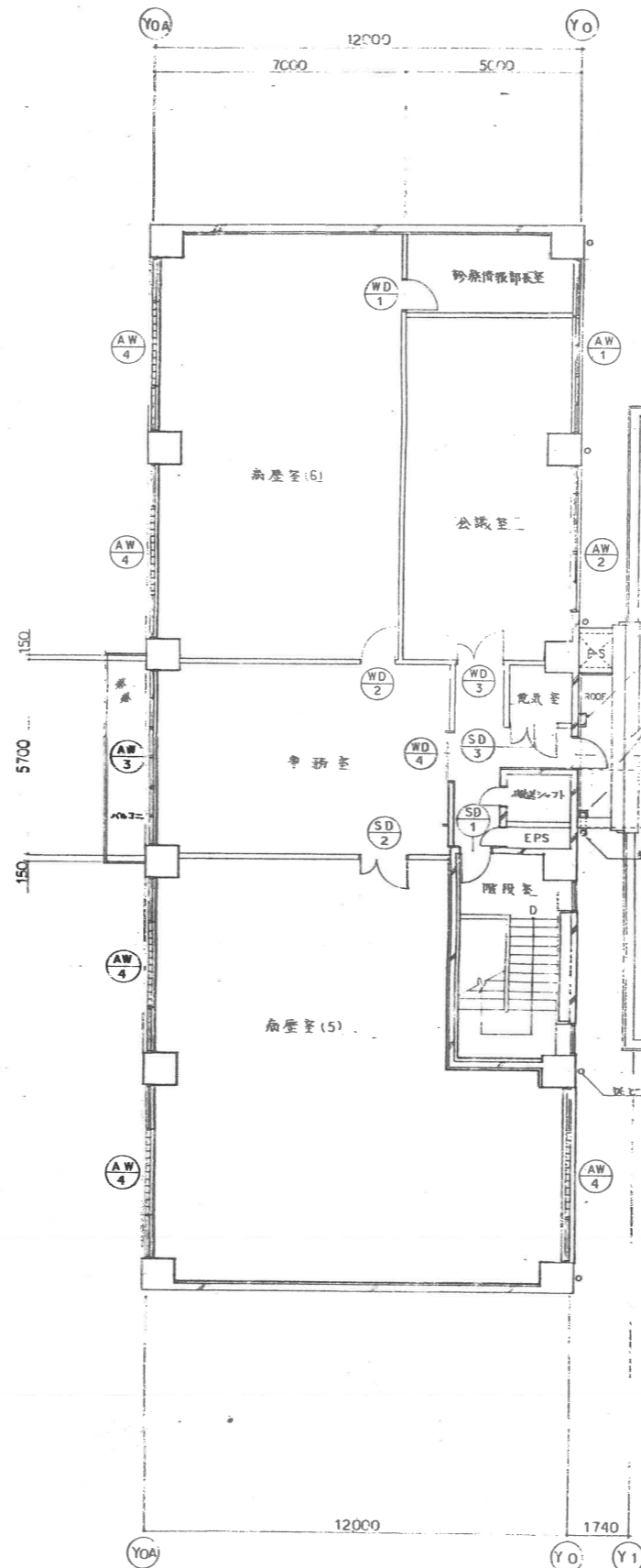
新潟県市整備局南光建設部営繕課
 課長 補佐 係長 係員

石本建築事務所
 東京・札幌・名古屋・大阪・九州・仙台・横浜

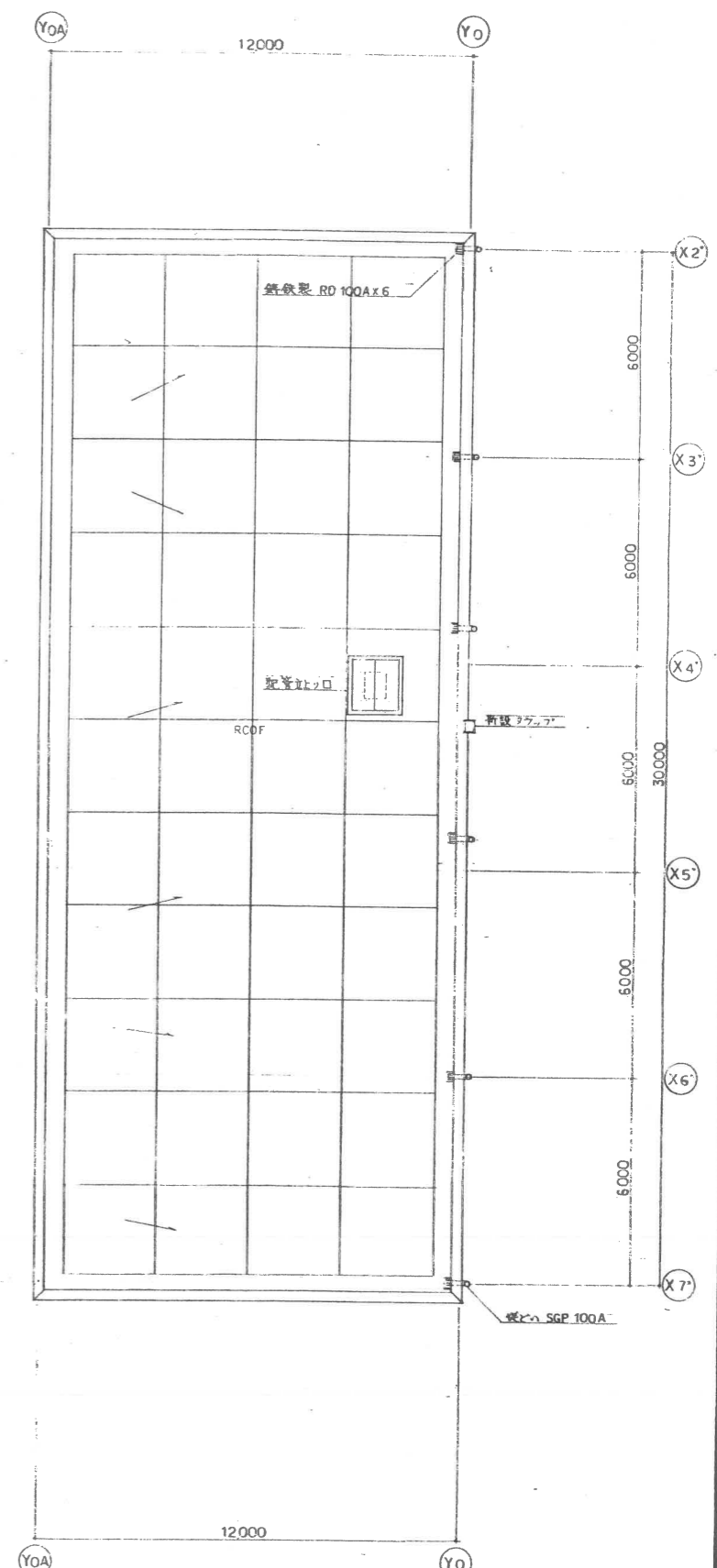


既存3階平面図 1:100

設計変更仕様
 既設防水槽押コック+撤去後簡易防水工施工。
 天井防水同等。



3階平面図 1:100



R階平面図 1:100

新潟市都市整備局開発建築部管轄課

調査	指示	係長	係
----	----	----	---

設計番号	17479	市民病院病歴棟増築工事
図面番号	5	3階増築平面図
製作日		
石本建築事務所	調査	校正
東京・札幌・名古屋・大阪・九州・仙台・横浜		